

付 対 ルー ル 貿 易 関 係

一一九 一月二十七日

内田外務大臣ヨリ
在仏国奥山臨時代理大使宛(電報)

南滿州鐵道会社ノ注文セル本年度敷設用レ一

ルノ引取ニ関シ仏国側ニ問合方訓令ノ件

第二十九号

滿鉄会社ハ客年十二月中仏軍占領「ルール」地域ニ於ケル
独逸工場 Gutehoffnungshütte, Aktien-Verein für Berg-
bau und Hüttenbetrieb, Oberhausen, Deutsch-Luxem-
burgische Bergwerks und Hütten A. G. Dortmund 及
Friedr. Krupp Aktiengesellschaft, Essen ニ本年度敷設用
軌条合計屯百十哩ヲ注文シ目下製作中ノ処仏国今後ノ行動
ニ依リ右製作並ニ引渡ニ関シ支障ヲ生スヘキ懸念アルニ付
予メ適當保護方申出タリ就テハ仏国政府及出先軍憲ノ行動
カ右製作引渡ニ如何ナル程度迄支障ヲ生スル見込ナリヤ又
出先軍憲ニ於テ此種連合国ヨリノ注文ニ対シ請求ニ依リ特
別ノ考量ヲ加フルカ如キコトナキヤ適當ナル筋ニ御問合ハ
セノ上其ノ結果回電アリタク又右注文遂行ニ関シ臨機適當
ナル措置ヲ講スルコトニ御取計ヲヒアリタシ

タレハ状況視察ノ為近々当館員ヲ同地方ニ派遣ノ上具体的
ニ本件ヲ調査シ報告スルコトト致度シ右御許可アリタシ
尚当地日仏銀行関係者ノ談ニ依レハ「クルップ」工場ニ注
文セル機械有ルカ(二月二十日受領ノ予定)右ハ当国ヘ回
送スルモノナレハ左迄困難モナカルヘシト樂觀シ居レリ
尤モ代金支払方法ニ付テハ目下攻究中ナル由何等御参考迄
漢堡ヘ暗号ノ儘郵送セリ

一二二 二月五日

在ハンブルグ蜂谷總領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

注文品引渡ハ目下ノ処差支ナキ見込ノ調査者

ノ情報報告ノ件

第九号

(二月六日接受)

貴大臣宛在仏大使宛電報第二十九号ニ関シ
在漢堡當業者側ノ意見ヲ徵スルニ本件ハ事政治問題ニ関シ
殊ニ仏国側ノ態度如何ニアルヲ以テ今後ノ見込ニ関シ予想
立チ難ク夫々探索中ノ状態ニ在ルガ如キモ一方取敢ズ実地
調査ニ向ヒタル者ガ本件注文品製造工場者側ノ意見トシテ
齋シ得タル今日迄ノ情報大要左ノ通

現在ノ所ハ各工場トモ運転ハ從來ト変リナク仕事ハ full

三 フランス、ベルギー兩國軍隊ノルール占領 一二一 一二二

本電本大臣訓令トシテ在漢堡總領事ニ転電アレ

一二〇 一月三十日

在仏国奥山臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ルール地方ノ状況視察ノ為館員ヲ同地方ニ派

遣セシメタキ旨請訓ノ件

第八九号

(一月三十一日接受)

貴電第二十九号ニ関シ往電第八三号^(省略)独逸一般的不履行ニ関ス
ル賠償委員會確認決議ニ基キ仏国カ今後如何ナル手段ヲ講
スルニ至ルヤハ判明セサル処外務省政務局長ノ談ニ依ルモ
現在ニ於テハ主トシテ石炭ニ手ヲ付ケ居ルノミニテ機械製
造工場ノ管理ハ之ヲ行ヒ居ラサルニ付占領ノ直接ノ結果ト
シテハ御来示ノ件ハ何等影響ヲ受ケサル趣ナリ尤モ鉄道従
業員ノ罷業又ハ炭坑主カ仏占領軍ノ命ニ従ハサル今日ニ在
リテハ石炭供給ノ困難、運送ノ障碍等ノ為實際上製作又ハ
引渡ノ遅延ヲ来スコトナキヲ保セヌ兎モ角当地ニテハ実情
判明セサルニ付「ルール」地方ヘノ当館員ノ旅行ニ付テハ
仏国官憲ニテ相当便宜ヲ与フヘシトノ政務局長ノ談モアリ

swingノ状態ニ在リ石炭供給ニ関シテモ何等困難ナキヲ以
テ本注文品引渡ハ今ノ所差支ナキ見込ナリ殊ニ仏国側ノ態
度モ工場ニ対シテハ強ヒテ干涉セザルガ如シト而シテ今後
万一仕上品ニ対シ何等差押ラルル等ノ惧アル場合ニ処スル
弁法トシテ右工場側ノ云フ所ニ依レバ從來ノ「f.o.b」ニ
代フルニ工場渡トシテ之ヲ本邦品トシテ自用貨車ニ依リ
Duisburg ニ送り夫ヨリ和蘭ニテ Rotterdam ニ積出サバ
仏国トシテ干涉ノ余地ナカラシ万一ノ場合ニハ外交の交渉
ノ余地モアルベシト將又占領地ニ於ケル代金支払授受ニ関
シ問題ヲ生ゼバ支払地變更ノ便宜モアルベシ若シ夫レ独逸
当局側ヨリノ故障ニ至リテハ何等之アル管ナキナリ去レド
モ唯今後運輸上ノ困難ヲ生ズル場合ニハ工場側トシテハ如
何トモ為シ難シト猶参考トシテ得タル情報ニ依レバ英国ハ
「ローレン」地方ニ対スル從來ノ注文ヲ却テ「ルール」地方ニ
切替ヘタリト云フ御参考迄 在仏大使ヘ暗号ノ儘郵送セリ

一二二 二月十二日

在仏国奥山臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

館員ヲシテ実地ニ調査セシメタル結果ヲ報告

ノ件

第二一〇号

(二月十三日接受)

往電第八九号ニ関シ

今般館員ヲシテ実地ニ調査セシメタルニ Deutsch-Luxemburgische Bergwerks und Hütten A. G. (一)労働者及原料供給ニ関シ(二)工場ヨリ船積港迄ノ運送ニ関シ(三)白ノ妨害ヲ被ラザルコト及(四)独逸政府ノ賦課スル以外ノ輸出税ハ買受人ノ負担タルコトニ付テ保障ヲウ(脱)問ニ於テハ契約ヲ履行シ得ベキ旨申出デ「クルップ」及ビ Gutehoffnungshütte 両会社ノ意向ハ之ヲ確ムルヲ得ザリシモ右ノ条件ニ同意ナルベシト云フ尚刻下ノ事情ニ顧ミ同社トシテハ差当リ四週間乃至六週間ノ履行猶予期間ヲ与ヘラレンコトヲ要求セリ又本邦契約ハ確定的ニハ成立シ居ラザルヤニテ前記条件ノ下ニ契約成立ニ関スル確定的回答ヲ得タキ旨付言セリ然ルニ「デュッセルドルフ」仏軍司令部員ガ同館員ニ語リタル処ニ依レバ仏白ハ「ルール」地方ニ対シ更ニ鉄ノ輸出入禁止ヲ実行セントスルモノノ如キヲ以テ其ノ輸出ニ就テハ特許ヲ(一)材料ノ輸入禁止ニ基ク履行ノ遅延又ハ滞納ハ之ヲ如何トモ致方ナカル可シト存ス
漢堡へ転電セリ

一二三 二月十三日

在仏国奥山臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ルール地方ヲ旅行セシメタル館員ノ報告統報
ノ件

第一二六号

(二月十四日接受)

往電第八九号ニ関シ

未タ御許可ヲ得サリシモ諸般ノ事情ヲ考慮シ本月上旬館員ヲ「ルール」地方ニ旅行セシメタリ其ノ報告概要御参考迄電報ス

一、同地方住民ノ敵愾心ハ一般ニ甚シク「ボツクム」「ドルトムンド」ノ二市ノ如キハ危険ニテ市内ニハ占領軍ノ一兵ヲモ見ス市外ニ駐屯スルノミ仏、白ハ地方官放逐等ノ強圧手段ヲ取リタルニ拘ラス彼等ヲ庄伏スルヲ得ス工場炭坑ノ如キモ仏、白技師ニ於テ錯雑ナル工業組織ニ手ヲ付クルニ由ナク Kohlen Syndikat ノ逃亡後技術委員ハ今尚経営方法ノ講究ニ焦慮シ居ルモノノ如シ
二、住民中官吏、教員等ハ最も反抗のニシテ工場主モ最後迄抵抗スヘク仏、白側力最も頼ミトスル労働者ハ対資本家反感強ク政府工場主等モ彼等ノ歛心ヲ買ヒ之ヲ懷柔ス

ルヲ必要トシ過般「クノー」首相ノ来レルモ彼等ヲ鼓舞シテ仏、白ニ反抗セシムル為ナリシト云フ共產黨員中ニハ仏官憲ニ服從セントスルモノアリテ旧教労働者トノ間ニ争ヲ生シ居ル趣ナルモ同黨員ハ左程多数ナラス但シ労働者ハ一般ニ軍国主義ニ大反対ナルヲ以テ此ノ見地ヨリ痛ク仏、白占領軍ニ反感ヲ有シ「ボツクム」ノ一職工長ハ若シ仏、白技師カ工場内ニ入り来ラハ労働者ハ共產黨員ト雖之ヲ襲撃死ニ至ラシムヘシト云ヘリ又波蘭坑夫ハ特ニ親仏的ナラス寧ロ親独的ナリト云フ

三、交通ニ関シ「クノー」ノ出張以来総罷業ハ止ミ部分的怠業ヲ以テ仏、白ノ妨害ヲ計ル方針決セラレタル趣ナリ元来同地方ノ鉄道ハ石炭、「コークス」ノ運送ヲ主眼トスルヲ以テ封鎖以来線路ノ大部分ニ鏽ヲ生シ居タル処石炭「コークス」ヲ満載セル貨車渋滞シテ從來ノ運転系統全ク破壊セラレタルノ感アリ

四、工場炭坑ハ通常ノ如ク作業ヲ継続セルモ外部トノ交通杜絶ノ為採炭堆積シ其ノ結果曳テ「ルール」内部ノ交通ヲ妨ケ石炭供給ヲ阻害シ製鉄業ニモ影響ヲ及シツツアリ又製鉄原料品モ漸ク欠乏シツツアリト云フ

五、物価ノ騰貴ハ甚タシク労働者ノ賃銀ヲ増加スルモノ之ニ及ハサルヲ以テ彼等ノ間ニ不満高マリ自暴自棄の気分ヲ醸成シツツアリ食料モ不足ヲ告ケ麵包ハ切符制度ニ依リ一週一人分黒麵包一「キロ」七十五ヲ分配セリ珈琲「バター」ハナク砂糖モ制限セラレ居レリ
六、占領軍側ニ於テハ「デュッセルドルフ」及「ボツクム」ニ新聞課ヲ置キ情報事務及独逸新聞ノ検閲、没収又ハ発行停止等ヲ行ハシメ独逸側ニ於テハ「エッセン」ヲ宣伝ノ中心トシ「ウオルフ」通信支部ヲ活躍セシメ仏国側ハ「ウオルフ」宣伝ノ打消ニ急カシキ有様ナリト云フ在欧米各大使へ暗号ノ儘郵送セリ

一二四 二月十六日

内田外務大臣ヨリ
在仏国奥山臨時代理大使宛(電報)

仏国ガルール輸出ヲ原則トシテ禁止セル趣ニ
ツキ我が既約品ニ支障ヲ及ボサザル様仏国当局ニ申入方訓令ノ件

第六〇号

往電第二九号ニ関シ

新聞電報ニヨレバ仏国政府ハ「ルール」地方ヨリノ鉄製品

其ノ他ノ輸出ヲ原則トシテ禁止シ特許ノ制度ヲ定メタル由
ノ処本件既の品ニ対シ今後何等製作積出上権力のニ支障ヲ
及ホサザル様予メ仏国政府へ御申入ノ上結果何分ノ儀回電
アリ度シ

尚貴電第一二六号中満鉄注文品製作等ノ現状ニ付キ何等ノ
記載ナキ処右模様併セテ回電アリタシ

一二五 二月十七日 在ハンブルグ蜂谷総領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

仏国ハルール輸出ニ特別許可制ヲ設ケタルニ

ヨリ本邦注文品ニハ支障ナキ様同国当局ニ折

衝方要請ノ件

第二二号

(二月十八日接受)

往電第九号ニ関シ

仏国ハ予想ノ如ク遂ニ二十日付ヲ以テ同日以降鉄、鉄製品
其ノ他ノ貨物ヲ「ルール」占領地帯ヨリ独逸内地へ輸出ス
ルコトヲ差止メ「ライランンド・コミッション」ヨリ特別
ノ輸出許可ヲ要スル旨宣言シタルカ右ハ独逸商社ニ対
スルノミナラス外国商社注文ノ貨物ニ対シテモ場合ニ依リ
適用セラルルカ如ク且其ノ輸出ニハ相当高率ノ課税(從価

税十「パーセント」トモ云ハル)ヲ負セラルル憂モアルヤ
ニテ右実施ノ曉ニハ該地方關係本邦業者ノ打撃モ尠カラ
サル次第ナルカ右ニ関シ本件満鉄「ルール」注文品關係業
者タル当地高田、三井及在柏林「シーメンス・シュッケル
ト」ノ意向ヲ質シタル処若右宣言カ愈々具体化セラレ本邦
側注文品ニ対シテモ同様適用セラルルニ於テハ其ノ蒙ムル
所ノ損害モ尠カラス從テ本件注文品ノ設定ハ事實困難ニ陥
ルヘキヲ以テ此ノ点ニ関シ何トカ便宜無キ限リハ事ヲ進捗
セシメ難シトテ何レモ確定的注文設定ヲ躊躇シ居レル有様
ニテ且等シク希望シテ曰ク若シ右ノ点ニ関シ仏国政府ヲシ
テ本邦注文品タルコトノ証明アルモノニ対シテ仮令独逸内
地ヲ通過シ得ストスルモ和蘭方面等ヲ通過セシムル意味ニ
於テ從來通り自由輸出許可ヲ与フル様取計方貴外務省ヲ煩
シ得ルヲ得ハカノ「スベシフィケーション」ノ問題等ハ比
較的容易ニ決定シ得ヘク且右ニ対シ独逸側トシテハ素ヨリ
何等支障ヲ唱フル管ナカルヘキヲ以テ本件ハ円満ニ進捗シ
得ヘキモノト信スルヲ以テ右何分ノ御配慮ヲ得タシト申述
ヘタリ尚同様希望ハ「ドルトムンド」工場側モ等シク抱キ
居レル旨聞及ヘルカ察スルニ本件ハ独逸満鉄注文「レール

ル」ニ止マラス其ノ他本邦業者ノ該地方へ目下注文シ居
レル額モ相当巨額ニ止リ居レル關係上其ノ本邦側ニ及ホス
影響モ少カラサル次第ナルニ付テハ此ノ際何トカ仏国政府
ヲシテ前頭我方希望ヲ事実ニ於テ容認セシムル様至急御交
渉方御配意相煩ハシタク結果御回電ヲ請フ
仏、独へ暗送セリ

一二六 二月二十四日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

満鉄用レール輸出ニ関シ仏国外務省ニ便宜供

与方依頼ノ件

第一四八号

(二月二十五日接受)

貴電第六〇号ニ関シ

二月二十三日佐藤ハ四月以後引渡満鉄用「レール」輸出ニ
関シ便宜供与方ヲ依頼セル覚書ヲ外務係官ニ手交シタルカ
其際聞キ得タル所ニ依レハ一月十一日以前「ルール」地方
ノ工場ト締結セラレタル契約ノ履行ニ対シテハ占領軍憲ノ
命令ヲ以テ何等支障ヲ及ホスカ如キコトナカルヘク輸出方
法ニ付テハ独逸内地ヲ經由スルトキハ同国側ニ於テ種々故
障ヲ入ルル虞アリ独逸内地以外ヲ經由スル場合ニハ地方輸

出特許ヲ要スルニ過キスシテ運輸上多少ノ不便ハ免カレサ
ルヘキモ原則的ニ之ヲ困難ナラシムル事情ナキ由ナリ現下
萊因占領地方ニテハ從価三厘ノ輸出手数料及從価一割ノ輸
出税ヲ徴収シ居リ「ルール」占領地方ニテモ右ト同様ニ律
セラルル管ナルカ其ノ規則ハ追テ入手ノ上概要申進スヘシ
前記覚書ニハ本件「レール」ハ一月十一日前ニ注文済ナル
旨ヲ認メ置タルニ付右御含置相成タク尚ホ同書ハ Degoutie
司令官ノ下ニ送付セラルヘク其ノ回答アリ次第當館ニ通知
シ来ル管ナリ
在独大使及在漢堡総領事へ転電セリ

一二七 二月二十四日 内田外務大臣ヨリ
在仏国佐藤臨時代理大使宛(電報)

ルール地方ニ実施セル輸出禁止令ニ関シ問合

ノ件

付記

二月二十一日通商局商報課公表商報第一四七号
仏国ルール地方占領ノ我が対独注文品ニ及ホス影響

第七六号

往電第六〇号前段ニ関シ

該禁止令ニヨレバ外国商社トノ既成約定履行ノ為メ輸出セラルル鉄製品ニシテ独逸内地ヲ經由セザルモノ及外国商社トノ既成約定品ノ一部ヲ為ス鉄製品ヲ再注文ノ履行トシテ独逸内地ニ積送スルモノニ対シテモ總テ特許並課税ヲ強要スルモノナリヤ特許ヲ得ルニ必要ナル条件及手續ノ要領課税率並禁止品目ト共ニ至急回電アレ

尚在漢堡總領事代理ヨリ貴官ヘ暗送セル同官発大臣宛電報第一二号後段ノ希望ニ就テハ別ニ訓令ノ答ナルガ執レニスルモ尤モノ儀ナルニ付此際仏国政府当局ノ右希望ニ対スル意向御確カメノ上返電アリ度シ

本電在漢堡總領事代理ヘ暗送アレ

(付記)

二月二十一日通商局商報公表商報第一四七号

仏国ルール地方占領ノ我が対独注文ニ及ホス影響

商報第一四七号

仏白連合軍ハ一月十七日何等衝突ナクシテ「エッセン」ヲ占領シ次テ漸次付近地帯ニ対シ所謂軍事の行動ヲ執リ主トシテ石炭ノ管理ニ任シ居タル処本月十二日付宣言ヲ以テ「ルール」占領地帯ヨリ同日以後鉄及鉄製品其他ノ貨物ハ

ニハ手ヲ染ムルニ由無キカ如シト云フ

三、尚旅行者ノ談ニヨレハ箇々ノ工場炭坑ハ現在作業ヲ繼續シツツアレト元来「ルール」地方ノ鉄道ハ石炭「コークス」ノ運送ヲ主眼トセルモノナルヲ以テ封鎖以來線路ノ大部分ニ錆ヲ生シ從來ノ運転系統全ク破壊セラレ外部トノ交通杜絶セルカ為採炭堆積シ石炭「コークス」ヲ満載セル貨車渋滞セリ其結果「ルール」内部ニ於テモ石炭供給ニ支障ヲ来タシ製鉄原料品モ漸ク欠乏シ製鉄業ニモ影響ヲ及ホシツツアリトノ事ナリ

四、本邦当業者ト密接ノ関係ニ立テル「ルール」地方製造工場主側ノ語ル処トシテ報道セラルルモノヲ綜合スルニ左ノ如シ

1、労働者及原料供給ニハ仏白ノ妨害ヲ被リ居ラス
2、独逸政府ノ賦課スル以外ノ輸出税ハ引取人ノ負担トスヘシ

3、既約品ニ就テハ四週間乃至六週間ノ引渡猶予アルニ非レハ契約履行不可能ナリ

4、仕上品ニ対シテハ目下何等差押ノ虞ナキモ注文品ハ工場渡契約トナシ Duisburg ヲ経テ Rotterdam ニ積出

三 フランス、ベルギー両国軍隊ノルール占領 一二八

「ラインランド・コンミッション」ノ特許ヲ得タルモノヲ除キ独逸内地ヘ輸出スルコトヲ差止メタリ

右宣言ハ単ニ独逸商社ニ対スルノミナラス外国商社注文ノ貨物ニ対シテモ場合ニヨリ適用スヘク又輸出ニ際シテハ相当高率ノ課税(多分從価ノ一割ナラン)ヲ徴スヘシト云フ一、先之仏国当局者ハ「ルール」地方占領直接ノ結果ハ同地ノ製造工場ニ何等特別ノ支障ヲ与フルコトナシ唯鉄道従業員ノ罷業又ハ炭坑主力從順ナラサル結果運輸機關ノ障碍或ハ石炭ノ補給困難ヲ来タシ實際上ノ影響ヲ来タスコトハ有之ヤモ計ラレサルモ右ハ仏国ノ関知スル所ニ非ラスト語リ居レル由

二、旅行者ノ談トシテ報セラルル所ニ依レハ占領地住民ノ敵愾心一般ニ甚シク「ドルトムンド」「ボックム」ノ二市ノ如キハ市内ニ占領軍ノ一兵ヲモ見ス市外ニ駐屯スルノ現状ニシテ仏白ハ地方官放逐等ノ強圧手段ヲ取りタルニ拘ラス住民ヲ圧伏スルヲ得ス占領ノ当初在「エッセン」石炭「シンデケート」其他二三ノ鉄業団本部ハ漢堡ニ移転セルヲ以テ仏白国側委員ハ其経営方法ノ攻究ニ焦慮シツツアルモノノ如ク尚又同地方ノ錯雜ナル工業組織

スモ一方法ナルヘシ

5、代金支払受授ニ就テ問題ヲ生セバ支払地ヲ変更スレハ可ナルヘシ

6、事態如斯ヲ以テ新規確定的注文引受ハ躊躇シツツアリ云々

五、「ルール」地方占領ノ我注文品ニ及ホス今後ノ影響ニ就テハ予想立チ難キモ少クモ貨物引渡ハ遅延ヲ免レ難カルヘク新規注文ハ此際見合ヌヲ可トシ又既約品ニ対シテハ当局ニ於テ折角考慮中ナルニ就キ本邦当業者ニ於テ同地方ニ関係ヲ有スルモノハ予メ其注文、品名、数量、金額引取時期及取引先等成ル可ク詳細且具体的ニ申出アリ度シ

一二八 二月二十六日 在独国日置大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

我が注文品ニシテ証明書ノアル場合仏、ベル

ギー兩國ノ便宜供与確保方意見申進ノ件

第四一号 (二月二十七日接受)

本邦商ヨリノ注文品ニシテ「ブレーメン」ヘ輸送ノ途中「ルベル」地方ニ於テ占領軍憲ヨリ輸送ヲ差止メラレタル

モノアルニ付不取敢右解放方交渉ト同時ニ他ノ本邦注文品ニモ支障ヲ来サザル様仏国政府へ交渉方在仏代理大使ニ依頼スルト共ニ当地仏国大使館ニモ同様依頼シ置ケリ尚漢堡發往電第十二号ニ関シ滿鉄「レール」ノ外古河「シーメン」合同経営本邦工場用建築材料機械等モ「キール」地方工場ニ於テ製造中ニシテ其他ニモ本邦ヨリノ注文頗ル多量ニ上リ居リ孰レモ今次ノ輸出取締ノ為打撃ヲ蒙ル虞アリ右ハ本邦商工業ニ及ボス影響モ鮮カラザル次第ニ付本邦ヨリノ注文品ニ相違ナキ旨ノ当館又ハ漢堡總領事館ノ証明書有方仏白兩國政府ノ諒解ヲ得ラルル様致シタシ

在漢堡總領事へ暗号ノ儘郵送セリ

一二九 二月二十八日 在ハンブルグ峰谷總領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

我が注文品中一定条件ヲ具備スルモノハ自由
許可ヲ取付ケタキ旨申進ノ件

第二十三号 (三月二日接受)

「ルール」地方ニ於ケル本邦側諸注文品ハ其後愈々輸出行
悩ノ状態ニアリ之ニ対シ至急取運方當館宛依頼越ノモノ已

一三〇 三月六日 内田外務大臣ヨリ
在仏国松田臨時代理大使宛(電報)

抑留セラレタル我が約定品ノ早急積出ヲ許可
スル様仏国政府ニ申入方訓令ノ件

第一〇七号

往電第七六号ニ関シ至急何分ノ儀回電アレ尚滿鉄約定品ノ
外三菱商事倫敦支店ヨリ昨年十一月 Mülheimノ Thyssen
会社ニ注文セシ鉄道省用「レール」及付属品最終積出ノ分
千八百十五屯目下仏国ノ為メ抑留セラレ居ル由ニ付(詳
細ハ当方ニテ判明セズ前記支店ヨリ直接貴館へ電報ノ答)
右ニ対シテモ何等特種輸出税ヲ支払ハズシテ直チニ積出ヲ
許可スル様仏国政府へ申入レラレタシ又右以外本邦商社ノ
約定品ニシテ積出上仏国側取締及之ニ対スル独逸側禁令ノ
為メ支障ヲ蒙ル虞アルモノ尠カラザルハ在漢堡總領事代理
ヨリ転報セル同官發大臣宛電報第一二二号乃至一五五号ニヨリ
御承知ノ通ニシテ尤モ其内ニハ独逸製造家が自己限リニテ
「ルール」地方ニ再注文セルモノ又ハ独逸商社ト代理關係
ヲ有スル本邦商ニ仕向ケラルルニ過ギザル分アリト被認旁
旁目下当方ニ於テ適當取調中ナルガ孰レニスルモ此際原則

ニ数件ニ上リ總計金額モ巨額ニシテ引渡期日モ亦夫々經過
又ハ切迫セルモノナルト且右注文中ニハ本邦諸官庁向ノモ
ノモアリ右ニ対シ當館トシテハ差当リ必要ニ応シ該品ノ日
本向タルノ証明ヲ發給セル次第ナル処仏国側ノ態度ハ占領
地ヨリ独逸以外ノ諸國へノ輸出ニモ輸出許可ト共ニ從量一
割仕払ヲ要求シ居レルカ如クナルニ反シ一方独逸政府ハ自
國商社等ニ命シ対仏白租税仕払ヲ禁止シ居レルノ事實アル
ニ顧ミルトキハ此際仮令仏国側カ前記我方証明ニ対シ輸出
許可ヲ与フヘシトスルモ右カ自由(無税)輸出許可ニアラ
サル限リ独逸側ヨリ故障ヲ入ルルノ虞モアリ尚又注文者側
損失モ少カラサル次第ナルヲ以テ此点滿鉄「レール」ノミ
ナラス前記諸注文品中一定条件具備ノモノニ対シテハ齊シ
ク自由許可ヲ取付ケ得ル様致タシ尚又在仏大使發往電第一
四八号ニ依レハ一月十一日以前ノ契約ニ関シテハ占領軍憲
ヨリ命令ヲ以テ支障ヲ及ホサザル如クナルモ本邦側注文中
ニハ同日以降契約ノモノモアリ切テハ「ルール」地方輸出
取締令施行期日タル二月十二日前ノ分ニ対シテモ同様取扱
ハレ得ル様致シタシ右併セテ御交渉方御配慮煩ハシタシ
仏へ転電シ独へ暗送セリ

トシテ輸出取締令施行期日以前ニ真実契約セシコト明カナ
ル本邦商社ノ注文品ニ就テハ貴官ノ支持ヲ經テ輸出特許ヲ
願出ヅル場合ニハ何等特種税金ヲ支払ハズ輸出許可セラ
ル様仏国政府へ御申入相成結果夫々回電アリ度シ
本電参考トシテ在独大使及在漢堡總領事へ転電アレ

一三一 三月十一日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ルール地方輸出禁止令ニ関シ回答ノ件

別電 三月十日在仏国松田臨時代理大使發内田外務大臣

宛電報第一八一号

ルール輸出系統

第一八〇号 (三月十二日接受)

貴電第七六号ニ関シ
仏国外務省及「ライン」連合國委員會巴里出張員等ニ就キ
取調ベタル処
一、「ルール」地方ヨリ独逸内地ニ対シテハ報復手段トシ
テ輸出禁止ヲナシ居ルモ独逸内地ヲ通過スルト否トヲ問
ハズ独逸以外ノ國及仕向^(マニ)ラルル貨物ニ付テハ之ガ輸出ヲ
禁シ居ル次第ニ非ズ從テ貴電第七六号ニ所謂禁止品目ナ

ルモノナク唯輸出者側ニ於テ別電第一八一号ノ現行輸出
手続ヲ履ム時ハ理論上ハ何等ノ支障ナク許可ヲ与フルコ
トトナリ居ル次第ナリ但鉄道就業員ノ罷業等事実上ノ故
障ニ依リ多少ノ不便アルベク又独逸側ニテ「ルール」占
領ヲ承認セザル結果独逸内地ヲ通過シテ輸出スル場合ニ
ハ独逸輸出ノ際更ニ課税セラルルガ如キコトナシトモ限
ラザルベシ

二、「ルール」占領官憲ハ占領後全然独逸法令ヲ適用シ居
リタル処占領地方独逸人税官吏ノ罷業ノ為複雑ナル現行
独逸輸出税ニ関スル規則ヲ適用スルコト困難トナリタル
ニ付二月二十日ヨリ機宜ノ措置トシテ一律ニ從価一割ノ
輸出税ニ復歸スル筈ナリト謂フ尤從価一割ハ独逸制度ニ
比シ税トシテハ低廉ナル由ニテ要スルニ實質上ハ独逸制
度ニ何等変更ヲ来シタル次第ニ非ズトノコトナリ

三、前記一割ノ輸出税ハ輸出ノ際ニ支払ハルヘキモノニ非
ズシテ許可書発給ノ際ニ徴収セラル從テ輸出者側ニ於テ
独逸官憲ニ依リ適法ニ発給セラレタル許可書ヲ有スル時
ハ今猶占領官憲ハ之ヲ有効ト認ムル次第ナルガ之ト同時
ニ契約成立ノ時期如何ニ拘ハラズ独逸官憲ヨリ許可書ヲ

八一号 ルール輸出手続

第一八一号

(三月十一日接受)

「ルール」輸出手続

輸出許可ヲ要スベキ物品ハ当分ノ内独逸法令ノ定ムル処ニ
依ル輸出価格ハ外国貨ヲ以テ表示シ一定最低価格ヲ降ルヲ
得ズ其許可ヲ受クルニハ從価三厘ノ手数料及從価一割ノ輸
出税(前ニ一切ノ輸出工業品ニ課シ居レリ)ヲ納付スルコ
トヲ要ス尚輸出業者ハ輸出品別ニ定ムル率ニ依リ一定額ノ
外国貨ヲ「ライン」連合国委員会ノ銀行勘定ニ払込ムコト
ヲ要シ同委員会ハ右払込額ニ相当スル紙麻克ヲ払戻スベシ
(支払契約第七条ノ実行トシテ賠償委員会ノ承認セル制度
大正十年賠案第二二〇号及第二二一号参照)

在独大使、漢堡へ転電シ、里昂、馬耳塞及倫敦商務官へ郵
送セリ

一三二 三月十三日 在ベルギー国安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

フランス、ベルギー両国当局者ノ会談ノ結果

発表セラレタル公報ノ概要報告ノ件

三 フランス、ベルギー両国軍隊ノルール占領 一三二

得居ラズ新ニ之ガ発給ヲ求ムル場合ニハ現行ノ輸出税ヲ
課セラルル次第ナリ

四、要スルニ仏国側ノ説明ニ依レバ現在「ルール」ノ制度
ハ独逸制度ト事実差異無ク輸出業者ニ於テ「エッセン」
ノ事務所ニ許可ヲ申請シ別電所載ノ条件ヲ利用スルトキ
ハ許可ヲ与ヘザルコトナカルベキ趣ニテ本邦商人ニテ契
約ノ履行ヲ得ザル場合ニハ独逸商人ヲ「プレス」スルヨ
リ外無カルベシトノコトナリ

五、当地ニテハ報道区々ニ亘リ以上各項取調ベノ結果以上
ニ正確ナル「インフォメーション」ヲ得ルコト困難ナ
リ又貴電第一〇七号末段本邦注文品ノ無税輸出ノ件ハ前
記三ノ説明ニ顧ミ実現困難ト思考セラルルモ之亦当地ニ
テハ急速取運ブコト不可能ニ付現地ニ館員派遣実地取調
ノ必要アリト思考ス館員出張ノ件時宜ニ依リ実行致スベ
キニ付予メ御承認ヲ請フ

在独大使、漢堡へ転電シ、里昂、馬耳塞、倫敦商務官へ暗
送セリ

(別電)

三月十日在仏国松田臨時代理大使宛内田外務大臣宛電報第一

第四七号

(三月十四日接受)

仏国首相陸相荒廢地大臣「ルール」占領地總督ト三月十二
日來武同日白首相外相陸相鐵道大臣等ト会見セルガ右ハ先
般白首相ノ巴里行ニ引続キ「ルール」占領ニ関スル諸懸案
協議ノ為ニシテ同夜右ニ関シ大要左ノ公報発表セラル

一、「ルール」ヨリ仏・白ヘノ石炭、「コークス」輸送ノ
促進並ニ仏・白兩國政府ノ合意ニ依ル実行手段ノ講究
二、仏・白管理ノ鐵道運行及其経費支弁ニ関スル協定
三、占領軍ニ対スル独人不逞ノ行動ニ対スル抑圧及制裁手
段

四、仏・白人以外ノ者ノ「ルール」地方關係取引ニ対スル
許可ノ標準

五、独国側賠償ヲ具体的ニ実行セザル限り決シテ「ライ
ン」左岸ヲ撤退セザル約言

六、独国人ニシテ仏白行動ヲ支援セルモノニ対シ独政府ガ
処罰ヲナサズ且彼等將來ノ安全ガ確保セラルルコトヲ認
ムル迄ハ占領地ヨリ撤退セザルコト等

在欧洲各大使へ郵送セリ

一三三 三月十五日 在独国日置大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

現在我ガ注作品ノ輸出ハ不可能ト認メラルル

旨報告ノ件

第五五号

(三月十六日接受)

往電第四一〇号ニ関シ在仏大使発外務大臣宛電報及視察中ノ
森島ノ報告並当方聞込ヲ綜合スルニ

(一) 占領官憲側ハ「ルール」ヨリノ外国輸出ニ対シ從價一割
ノ税金ト輸出特許トヲ強要シ且右特許出願者ヲ占領地ノ独
逸人ニ限レルニ対シ当国政府ハ独逸人ニ対シ右税金ノ仕払
ニハ勿論占領官憲トノ一切ノ接(脱)ヲ嚴禁シ居レル為メ
輸出特許スラ申請スルヲ得サルノミナス縦シヤ之ヲ得ル
モ労働者ノ反抗ノ為メ輸送シ得サル実情ニアリ

(二) 右様ノ次第ニ付本邦注作品ノ輸出ヲ占領官憲ヲシテ之ニ
対シ好意的或ハ法律上ノ根拠ニ依リ課税特許等ヲ免除セシ
ムルカ又独逸側ヲシテ占領官憲ノ行為ヲ認容セシムルニア
ラサレハ不可能ナルモ独逸側ヲシテスル状態ヲ認容セシム
ルノ見込更ニナシ

(三) 依テ現在ノ所我注作品輸出ハ一切不可能ト認ムルノ外ナ

ル尚右出願ニハ注文ノ日付一般の利害關係ヲ有スルモノナ
ルコト及二月一日以前ニ代金ノ全部又ハ一部ヲ仕払ヒタル
場合ニハ買主カ本邦人ナラハ其事実ニ関スル在仏若クハ在
白本邦大使ノ証明書ヲ付スルコトヲ要ス

右決定ノ趣旨ハ当国外務省局員ノ語ル所ニ依レハ萊因左岸
及「ルール」地方ヨリノ輸出特許ハ從來ノ独逸法制ノ通り
輸出者ヨリ出願スルコトヲ必要トセルニ独逸政府ハ其臣民
ニ対シ占領官憲ニ関税ヲ仕払又ハ特許ヲ出願スルコトヲ禁
シタルヲ以テ外国注作品ノ輸出不能トナレリ斯テハ占領當
時既ニ確定セル善意ノ外国注文ニ損害ヲ及ホスコト大ナル
ニ依リ之ニ対シ除外例ヲ設ケムトスルモノナリト
在仏大使、漢堡へ転電シ英、馬耳塞、里昂へ郵報

一三五 三月十七日 在ハンブルグ蜂谷總領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

我ガ注作品中特別ナルモノニ付テハ輸出許可

ヲ得ラルル様具申ノ件

第一九号

(三月十八日接受)

往電第一三三三号ニ関シ

(一) 在仏大使發往電第一〇八号仏官憲側ノ意向ニ対シテハ在

三 フランス、ベルギー両国軍隊ノルール占領 一三五

シ

在仏大使、在漢堡總領事へ転電セリ

一三四 三月十七日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一定条件ヲ有スル注作品輸出ヲ容易ニスル為

ノライン高級委員ニヨル手續決定ノ件

第一九五号

(三月十八日接受)

往電第一八一号ニ関シ十六日萊因高級委員ハ本年二月一日
以前ニ為サレタル外国注作品ノ輸出ヲ容易ナラシムル為メ
左記ノ手續ヲ決定セリ

(一) 注文カ *interet général* ノ性質ヲ有シ独逸輸出業者ノ同
意アル場合ニハ買主ヲシテ輸出業者ニ代リテ特許出願ヲ得
セシム右措置ハ殊ニ売価ノ全部又ハ一部ハ二月一日以前ニ
払込済タル以前ニ適用アリトス

(二) 右ノ条件ヲ完備セサル場合ニモ連合官憲ハ除外例的許可
ヲ与フルコトヲ得

(三) 以上ノ場合ニ於テハ注文締結當時有効ノ関税ヲ徴収ス外
国貨幣ノ提供ハ之ヲ免セラルルコトアルヘシ

(四) 此手續ハ萊因占領地帯並ニ「ルール」地方ニ等シク行ハ

独大使發往電第五五号ノ事情モアル次第ナルカ若シ本件カ
此儘行詰マルニ於テハ今後故障ナク解約シ得ルモノハ別ト
スルモ其他ノ契約ニ関シ本邦當業者ノ受クル打撃ハ尠カラ
サルモノアリ現ニ右當業者側ノ内ニハ独逸政府サヘ特ニ容
認シ呉ルルニ於テハ此際從價一割ノ仕払ヲナスモ妨ナシト
迄言ヒ居レル向モアリ(不明)ニ関シ当地商業會議所及独
逸工場側等ヨリノ意見ヲ徴スルニ税ヲ仕払ハスシテ得タル
仏国側ノ「ライセンズ」ナラハ兎モ角苟モ税ヲ仕払ヒタル
モノナルニ於テハ其負担カ売手ナルト買手タルトニ論ナク
独逸政府ノ嚴禁シ居ル限り輸出ハ全然不可能ナルヘシト言
ヒ居ルニ顧ミルトキハ今唯一ノ道トシテハ尚仏国側カ前回
ノ如キ既成契約ノ内切メテハ政府筋其他重ナルモノノミニ
対シテナリトモ特別ノ例外トシテ一割課税ヲナスコトナク
輸出許可ヲ与ヘ呉ルルノ外ナキ次第ナリ

(二) 前記在仏大使發電報中契約成立ノ時期如何ヲ問ハス云々
トアルモ在「コブレンツ」英國側「ハイ・コミッシヨナ
ー」カ萊因占領地ニ関シ發表セル所ニ依レハ一月二十五日
前契約ノモノ云々ト言ヘル点アリ此点御参考迄

(三) 因ニ現在「ルール」地方ニ於ケル本邦側注作品總額ハ三

百万円ヲ超ユヘク其内ニハ満鉄ノ外鉄道省農商務省大阪市
庁等注文ノ分モアリ尚目下当館ニ集レル本件注文品「リス
ト」ハ必要ニ応シ仏大使館ヘ送付スヘシ
在仏大使ヘ転電シ在独大使ヘ暗送セリ

一三六 三月十九日 内田外務大臣ヨリ
在仏国松田臨時代理大使宛(電報)

実需ニ基ク注文ナル限り総テ輸出ヲ特許セシ

メ度ク交渉方訓令ノ件

第一二三号

貴電第一九五号ニ関シ

「アンテレ・ゼネラル」ヲ最モ広義ニ解釈シ実需ニ基ク注
文ナル限り公私執レノ引取先乃至用途ニ向ケラルルヲ問ハ
ズ尚代金一部又ハ全部支払ノ有無ヲ論セズ総テ輸出ヲ特許
セシメ度右ハ貴電ノ(一)ニヨリ当然ナルベキモ此際仏国外務
当局ヲ通シテ為念明確ナル了解ヲ得置カレ度シ

尚本件特許ヲ二月一日以前ニ限レルハ妥当ヲ欠クノミナラ
ズ本邦ニ於テハ自ラ「ルール」占領ニ伴フ輸出取締ノ真相
ヲ急速確知スルニ便ナラザリシ結果実需ニ基キタルモノニ
シテ二月二十三日前後ニ至リ注文ヲ確定セルモノアリ就テ

二月一日以前ノ外国注文品輸出特許特別手続ニ関スル規則
写及送付候条御査収相成度此段申進候 敬具

(付属書)

外国購買者ニ特許スヘキ臨時特別手続要訳

一九三三年二月一日以前ノ注文ニ対シ外国購買者ニ特許
スヘキ臨時特別手続ノ件

一、一般の利益ノ性質アル注文ノ場合売手ノ承諾ヲ得且売
手が独逸国官憲ニ対シ現行独逸法令ニ抵触スルコトニ付
テ責任ヲ負フ条件ノ下ニ連合国官憲ハ外国ノ買手が売手
ニ代リテ輸出許可証ヲ請求スルコトヲ許可スルヲ得ベシ
右ハ二月一日前ニ全部若ハ一部ノ支払ヲ了シタル注文ニ
対シ特ニ之ヲ適用スベシ上記ノ条件中ノ一ガ備ラザル場
合ニ連合国官憲ハ例外トシテ特種ノ輸出ヲ許可スルコト
ヲ得ベシ前記二場合ニ於テ注文当時ノ輸出税率ヲ適用ス
ベク外国証券ノ供托ハ之ヲ免除スルコトヲ得ベシ

二、前記ノ処置ヲ受ケントスル外国買手ハ左記關係連合
官庁ニ願書ヲ提出スベシ

(イ)デュセルドルフ及ドイスブルグ橋頭並ルール占領区域
ヲ除ケル占領地域ニ在ル又ハ之ニ定住セル商人ヨリノ商

三 フランス、ベルギー両国軍隊ノルール占領 一三八

ハ貴電ノ(一)例外的取扱ヲ約定期間ニモ及ボシ尠クトモ輸出
取締令公布日付タル二月十二日以後更ニ相当期間ヲ存シタ
ル期日マテニ約定セシモノヲモ許可スル様御交渉ノ上結果
併セ回電アレ

本電在独大使在漢堡總領事ヘ暗送アレ

(欄外註記) 在独大使ニ対シ「輸出業者ノ同意」ヲ政府ニ於テ禁
圧セザル様申入方訓令ハ暫ク見合セ可然カ(永井)

一三七 三月二十日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛

ライン及ビルール地方輸出手続ニ関スルライ

ン高級委員決定送付ノ件

付属書 外国購買者ニ特許スヘキ臨時特別手続要訳

大正十二年三月二十日

在仏

臨時代理大使 松田道一(印)
外務大臣伯爵 内田康哉殿

公第一五六号 (五月四日接受)

本件ニ関シ三月十五日「ライン」高級委員ニ於テ決定セル

品ニ就テハ高級委員ノ特許委員会

(イ)デュセルドルフ及ドイスブルグ橋頭並ルール占領区域
ニ在ル商人ヨリノ商品ニ就テハ在エッセン工場及鉱山監
督委員会ノ特許部

(一)注文ノ日付(一)二月一日以前ノ全部又ハ一部ノ支払(二)品
物ノ一般の利益ニ関スル性質ヲ保証スル証明書ヲ願書ニ
添付スベシ

右証明書ハ左記ノ官憲ヨリ発セラルルヲ要ス

(イ)買手が高級委員会又ハ連合国特許委員会ニ代表セラル
ル一国ニ属スルトキハ同委員会ノ其国ノ代表者

(ロ)右ノ国ニ属セザルトキハ前記委員会ニ代表セラルル一
国ニ於ケル本国外交代表者

願書ハ一九三三年五月一日迄之ヲ受理ス

一三八 三月二十一日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

我が注文品輸出差止ニ関シ仏国外務省政務局

長応答ノ件

第二〇六号 (三月二十二日接受)

在独大使発大臣宛電報第四一号ニ関シ(本邦注文品輸送差

止ニ関スル件)

二十日当国外務省政務局長往訪ノ節「ルール」占領地方ニ於ケル日本ノ注文品ノ輸出ガ往々困難ナル状態ニアル旨ノ苦情当業者ヨリ申出アリ右ニ関シ仏国政府ノ注意ヲ請ヒタシト談話セル処同局長ハ仏国政府ニ於テハ占領ノ為ニ外国ノ商工業ニ支障ヲ与フルノ意志ハ毫無之ニ付苦情アラバ其旨成ルベク詳細ニ遠慮ナク申越サレタシ仏国政府ハ充分ノ便宜ヲ与フベキ旨ヲ玆ニ明言スベシ從來他国政府ヨリモ同様ノ申出アリ夫々処理シ居レリ尤モ仏国官憲ニテハ何等支障ヲ与ヘザル心算ナルモ独逸ノ方ニテ可成リ輸出ヲ遮ル模様モアルニ付然ルベク御手配アリタシト申聞ケタリ英、独、白及漢堡ヘ転電セリ

一三九

三月二十一日

内田外務大臣ヨリ
在仏国松田臨時代理大使宛(電報)

大倉組注文品ノ輸出特許証明ニ関スル件

第二二五号

貴電第一九五号ニ関シ大倉組ニ於テ鉄道省ノ注文ニ応ジ東京所在独商 P. Schmitz & Co. ヲ通ジ本年一月十三日石炭自動積込器一組(約八千円)ヲ Maschinenbau-Anstalt

Humboldt, Koeln-Kalk 〳注文セルニ付右輸出許可方同組伯林支店ヨリ願出ノ節ハ表面ノ名義人「シュミツ」ナルモ鉄道省用品トシテ証明ヲ与ヘラレタシ

一四〇 三月二十三日

在独国日置大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

我方契約品干渉ニ対シ仏国政府ニ談判方要請ノ件

第六一号

(三月二十五日接受)

独逸政府ヨリ仏白以外国民ノ利益ヲ斟酌シ二月十二日前ノ契約ニ対シテ之ニ対シ占領官憲ニ於テ前記期日以後ニ発布セル規定ノ適用ヲ一切抛棄スルヲ条件トシテ独逸側ニ於テモ同様輸出ニ関スル一切ノ規定ノ適用ヲ抛棄シ単ニ輸出向地官憲ノ証明ノミニ基キ輸出スルコトニ同意スベキ旨申越セリ曩ニ英国商務官ハ或種ノ契約ニ対シテハ仏独双方ヲシテ齊シク輸出ニ対スル一切ノ干渉ヲ抛棄セシメ英国官憲ノ証明ノミニテ輸出出来得ル様仏独ト交渉中ナル旨語リタルコトアリタルガ前掲独逸政府ノ措置ハ右交渉ノ結果ナラシ、就テハ巴里ニ於テモ我方契約ノ物品ニ対シ一切ノ干渉ヲ抛棄スル様嚴重ニ談判セシメラレタク將又在仏代理大使

宛貴電第一二三号末段契約期日ヲ相当期間延長ノ件モ当方ニテ二月末日迄トシテ交渉スベキニ付同時ニ仏国側ニモ交渉セシメラレタシ

在仏、白大使、漢堡ヘ転電セリ

一四一 三月二十三日

在独国日置大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ルール其他ノ占領地ニ関スル守島書記官ノ視

察復命概要報告ノ件

第六二号

(三月二十五日接受)

守島書記官「ルール」其他占領地視察復命大要左ノ通り

(一)「ルール」地方其他占領地ノ交通機関ハ全ク(脱)一方輸出業ノ停止ト相俟テ同地方ノ經濟的活動ハ今ヤ半身不随ノ状態ニ在リ

(二)工業原料品並ニ製造品ノ出入ハ大体ニ於テ杜絶シ居ルモノノ如キモ猶多少ノ脱漏アルハ独仏側トモ之ヲ認メ工業及炭坑ハ今後少ナクトモ二ヶ月位ハ失業者ヲ出スコトナクシテ仕事ヲ繼續シ得ベク伯林政府ニシテ食料品及Creditヲ引続キ供与シ得ルニ於テハ何トカシテ此秋迄ハ工業ヲ続ケ得ベキ見込ナル由

(三)占領軍ガ住民ノ食料供給ヲ困難ナラシメ居ルノ事実ハ大体ニ於テ之ノ無ク独逸側トモ之ヲ認メ居レリ占領軍ノ食料ハ各本国ヨリ供給ヲ受ケ居レリ

(四)「ルール」地方住民中官吏及教員ノ敵愾心最盛ナリ労働者階級ノ反抗気分亦衰ヘズ「メーランド」人労働者ノ将来ノ向背ハ判然セザルモ何レニシテモ重要視スルニ足ラザル由ナリ資本家ハ最閉口シ居ルニ非ズヤト思ハルルモ兎ニ角上下一致消極的の平衡ヲ持續シ寸毫モ占領軍ニ屈從スル処ナシ唯此状態ガ何時迄続クカハ多大ノ疑問ニシテ既ニ一般民衆ハ幾分反抗運動ニ疲レ来レル兆無キニアラズ但労働者(不明)ノ危険ハ之無キ見込ナリト云フ

(五)占領軍ハ「ルール」地方ノ警察ヲ解体シタルモ占領軍ノ警戒ト住民相互ノ自制トニヨリ兎ニ角相当秩序ヲ保チ居リ特ニ無警察ノ情況ナシ

(六)占領軍ノ態度ハ比較的温和ニシテ住民トノ衝突ヲ避クル方針ナル様見受ケタリ占領軍ハ積極的ニ炭坑工場ノ契約ニ手ヲ付ケ居ル模様目下ノ処之無ク又石炭ノ輸送ニモ強テ努メ居ラザルモノノ如ク専ラ同地方ノ封鎖ニ依リ工業家ノ屈服ヲ俟チ傍ラ交通機関ヲ自己ノ掌中ニ収ムルニ努

メ居ル模様ナリ但占領軍ノ軍事化シタル「ルール」南北二線ハ単ニ占領軍隊交代、軍需品、食料品ノ輸送ヲ弁ズルニ止マリ其ノ能率ハ極メテ輕少ナル様見受ケタリ

(七)「ライン」左岸其他ノ旧占領地方ニ於テモ官吏教員ノ反抗、交通従業者ノ同盟罷業等アルモ一般住民ト占領軍トノ關係ハ事実に於テ「ルール」占領前ト大差ナシ

(八)「ルール」ヨリノ外国向輸出ニ関シテハ往電第五五号ノ通りナル処尚占領官憲ハ三月六日以来原料品ノ輸入ニ対シテモ從價一割ノ税金ト輸入許可ヲ強要スル為事実に原料品ノ輸入杜絶ノ姿ナリ依テ原料品ノ貯藏少ナキ工場例ヘバ Deutsch Luxemburg Dortmundunion ハ仮令占領官憲又ハ独逸政府ノ讓歩ニ依リ輸出丈ケハ可能ナルモ原料欠乏ノ為既存契約ヲモ履行シ得ザル立場ニ在リ但 Krupp ハ猶充分ノ原料品ヲ有スル旨会社ニ於テ説明セリ

尚「ライン」左岸其他ノ旧占領地 (Dusseldorf, Duisburg Ruhrort ハ「ルール」地方ニ屬ス) ヨリノ外国向輸出ニ依ル最近(イ)一月二十日迄ニ積出ヲ了シタル品物ハ其儘之ヲ輸出スルコトヲ得(ロ)一月二十五日迄ニ契約ヲ締結

之亦三、四週間内ニ独逸ノ制度ニ復帰ノ予定ナリト云フ然レトモ特許出願ハ二月一日以前注文ノ特例ヲ除キ絶対ニ独逸側輸出者ヨリ之ヲ為スコトヲ必要トセリ

二、往電第一九五号ノ特別手續ニ関シテハ其ノ決定ハ結局高級委員ノ手ニヨリ明白ハ目下独逸工業ニ対シ封鎖ヲ行ヘルモノナルヲ以テ此ノ種ノ例外的適用ハ喜ハサルモ「ルール」地方ヲ管轄スル「エッセン」特許事業所長ハ我滿鉄注文品ノ如キニ対シテハ其ノ輸出ニ関シ起ルコトアリ得ヘキ独逸側ノ故障ニ付在仏日本大使館ノ保証ヲ得ルニ於テハ或ハ特許方取扱フヘシト答ヘタリ

三、独逸側商人カ独逸政府ノ命令ニ依リ占領官憲ト關係スルコトヲ禁セラレタルハ独逸並漢堡発往電ノ如ク其態度甚タ強硬ニシテ例ヘハ滿鉄注文品ニ対シ往電第一九五号ノ手續ニ対スル「クルップ」工場ノ意見ヲ求メタルニ契約ヲ変更シテ品物ヲ工場渡トスルニ異議ナキモ之ニハ我方商人ニ於テ独逸国法ヲ遵守シ占領官憲ニ關係セス殊ニ一切之ニ納税セサルヘキコトヲ条件トシ事実上此手續ヲ不可能ナラシムル有様ナリ

四、尚仮リニ輸出特許ヲ得タリトスルモ運送ノ困難アリ独

シタルモノニシテ独逸側又ハ占領軍側ニ独逸輸出税率ニ依ル輸出税ヲ納メテ其輸出許可ヲ取付ケタル品物ハ新ニ占領官憲ノ stamp ヲ得テ輸出スルコトヲ得トノ例外ヲ認メタリ但独逸人側ニ於テハ該「スタンプ」ヲ受クルコト毫モ肯ゼザルガ故ニ(ロ)場合ニ於テハ事實上輸出不可能ナリ英國ハ許可ニ付テハ個々ノ場合ニ就キ現地占領官憲ノ手心ヲ要求シ居ルモノノ如シ

在欧州各大使ヘ転電セリ

一四二 三月二十六日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

三 谷書記官ノ実地調査結果報告ノ件

第二一九号 (三月二十七日接受)

往電第一八〇号ニ関シ今般三谷書記官ヲ特派シテ実地調査セシメタル結果要領左ニ申進ス

一、仏白側ハ税関ニ関シテハ独逸ニ代リテ之ヲ徴收スルモノナルコトヲ其根拠トスルヲ以テ輸入税ハ已ニ三月二十五日以降十「パーセント」ヲ廢シテ独逸ノ制度ニ復帰スヘク從テ礦石ノ如キハ今後無税ナリ輸出ニ関シテハ今尚一割ノ税ヲ徴シツアルモ高級委員部係官ノ談ニ依レハ

逸内地經由ハ独逸交通省カ占領軍ノ特許ヲ有スル貨物ノ輸送嚴禁セルヲ以テ不可能又「ロットエルダム」經由トスルニモ「ルール」地方ニ於ケル陸上運送ハ占領軍軍用列車ノ外鉄道運轉セス而シテ軍用列車ハ商品輸送ニ応セサルヲ以テ独逸側ノ協力ヲ得ルニアラサレハ運送不可能ナリ

独、漢堡ヘ転電シ英、管下各領事ヘ暗送セリ

一四三 三月二十六日 在ハンブルグ蜂谷總領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ルール輸出問題ニ関シ実施ノドイツ緊急法令

要領報告ノ件

第二〇号 (三月二十八日接受)

「ルール」輸出ノ件ニ関シ本月十六日以降実施ノ独逸緊急法令要領左ノ通り

第一条 適法ノ独逸官憲以外ニヨリ要求セラルル課税、手数料其他一切ノ費用ハ之ヲ外国官憲又ハ其金庫ニ支払フコトヲ禁ズ

第二条 独逸国内又ハ国境通過ノ貨物ニ関シ左ノ事ヲ禁ズ
(一)適法ナル独逸官憲以外ニ対シ輸出入ノ為ノ「ライ

センス」ヲ申請シ（自己又ハ第三者ノ為メ）又ハ之ヲ受ケ或ハ其目的ノ為ニ外国貨ヲ支払ヒ又ハ受取ルコト

(一)前記(一)ニ依リ得タル「ライセンス」ヲ以テ貨物ヲ占領地ヨリ外国又ハ非占領地へ搬出（若クハ反対ニ搬入）セラルルコトヲ知り又ハ知り得ベキ場合ニ其貨物ヲ引渡ス（又ハ受取ル）コト

右第一、第二項ニ違反シ或ハ右行為ヲ誘拐スルモノハ三ヶ月以上ノ禁錮（特ニ重キモノハ五年以下ノ加役）ニ処ス

其他市民権ヲ剥奪シ及当該貨物価額ノ少ナクモ三倍ニ相当スル罰金ヲ課スルコトアルベシ

第四条 右違法貨物代金等ハ之ヲ其儘国家ニ没収ス

尚右法令ノ趣旨ハ占領地方トノ輸出入ヲ禁止シタルニ非ズ占領官憲側発給ノ「ライセンス」ヲ認めザラントスルモノナリト、右法令ハ独逸内外国商社ニモ適用セラル
仏国へ郵報セリ

一四四 三月二十八日

内田外務大臣ヨリ
在仏国松田臨時代理大使宛（電報）

仏大使宛本大臣宛電報第一九五号所報高級委員会ノ決定ヲモ認メズ許可証ノ発給従前ノ輸出税額ノ支払等ヲモ不要ナラシメントスルヤニモ解セラルル処果シテ然ラバ仏国側ニ於テ容易ニ承認セズ結局高級委員会ノ決定ヲ無意義ナラシムルニ終ル虞アリ付テハ此際独逸政府ニ於テ無条件ニ前記高級委員会ノ決定ヲ本大臣宛在仏大使宛電報第一二三号訓令ノ趣旨ヲ拡大シテ之ヲ承認シ難クトモ独逸製造家ヲシテ外国注文者ノ輸出許可申請ニ同意ヲ与ヘ得シムル外解決ノ道無キヲ以テ右ノ趣旨ニヨリ独逸政府へ御交渉ノ上結果何分ノ儀回電アレ

尚占領軍憲ノ為メ抑留セラレタル本邦側約定品ニシテ最近輸出許可セラレシモノ二口アリ為念

本電在仏代理大使及在漢堡總領事代理へ転電アレ

一四六 三月二十九日

内田外務大臣ヨリ
在仏国松田臨時代理大使宛（電報）

ルール地方原料輸入税ニ関スル件

第一四〇号

在独大使宛本大臣宛電報第六二号ノ二(イ)ニヨレバ「ルール」輸入ノ原料品ニ対シテモ従価一割ノ税金ヲ強要スル由

三 フランス、ベルギー両国軍隊ノルール占領 一四六 一四七 一四八

三谷書記官ノ実地調査結果ニツキ質問ノ件

第一三六号

貴電第二一九号ニ関シ

三谷ノ実地調査ハ何月何日ノ現状ナリヤ又貴電末段「独逸側ノ協力」トハ具体的ニ如何ナル点ヲ意味スルヤ
尚往電第二九号満鉄同一〇七号三菱同一二五号大倉組ノ各約定品輸出方ニ就テハ仏国政府当局ト交渉ノ結果既ニ（独逸側ノ反抗乃至實際上ノ支障ヲ除キ）占領官憲ノ措置ノ関スル限り何等差支無ク輸出シ得ルコトナレルモノナリヤ又ハ一律ニ貴電第一九五号ノ手続ニヨル外無キ儀ナルヤ為念夫々回電アレ

一四五 三月二十九日

内田外務大臣ヨリ
在独国日置大使宛（電報）

ライン高級委員会ノ決定ヲ承認シ外国注文者ノ輸出許可申請ニ同意ヲ与エル様独逸政府ニ交渉方訓令ノ件

第二〇号

貴電第六一号ニ関シ

「占領官憲ニ於テ規定ノ適用ヲ放棄スル条件」云々トハ在

ノ処右ハ如何ナル意味合ノモノナリヤ至急回電アレ

一四七 三月三十日

内田外務大臣ヨリ
在仏国松田臨時代理大使宛（電報）

既ニ注文済ノウェルド鉄管ニツキ証明書交付方指示ノ件

第一四三号

往電第一三六号ニ関シ

三ツ引商社会社ノ姉妹会社タル「バクナル、アンド、ヒリス」(Bagnall and Hilles Co.)会社（日本会社ナリ）ヨリ瑞西「チーリッヒ」ノ Escher Wyss Co. 東京支店ニ注文セル「ウェルド」鉄管ハ東京電燈会社及東信電気会社ニ供給シ（東京市へ電力ヲ供給スル為メ）スルモノニシテ昨年十二月二十九日及同二十六日既ニ約定セラレタルモノナル処右ハ一月上旬 Escher ユリ Mannesmann Röhren Werke, Düsseldorf, Ruhrニ製作ヲ引受ケシメタルモノニ付 Escher ヨリ輸出許可申請ノ節ハ必要ナル証明ヲ与ヘラレ度シ

一四八 三月三十一日

在独国日置大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

我方ニ於テハ英国ノ方針ヲ採用シ仏、ベルギ

一 両国ヲシテ譲歩セシムル様交渉方具申ノ件

(四月一日接受)

第六八号

貴電第二〇号ニ関シ

一、占領官憲ニ於テ規定適用ヲ抛棄スル条件トハ同官憲ノ輸出規則発布ノ日付即チ二月十二日以前ニ締結ノ契約注文品ノ輸出ニ対スル同官憲ノ一切ノ管理ノ停止特ニ輸出許可輸出税外(不明)提供ノ抛棄ヲ云ヒ如上契約ヲ右期日以後発布ノ規則ノ適用ヨリ根本的ニ除外セシムル意味ニシテ本件独国通牒中ノ説明ニ依レバ右ハ新規法令ノ効力ヲ既決契約ニ遡及セシメザル国際商取引上ノ慣例ニ一致セシメタルモノナリ独逸側ハ本来「ルール」侵入及「ラインランド」ニ於ケル輸出管理ヲ以テ無比ノ不法行為ナリトシ占領官憲ガ独逸国領タル占領地帯ニ於テ行フ一切ノ行政的措置ニ挙国一致抵抗シツツアル事実ハ累次電報ノ通りニシテ「ハンブルグ」発大臣宛電報第二〇号独国緊急法令ハ右ノ見地ニ基ツケルモノナリ

二、如上ノ見地ヨリ高級委員会ノ決定ナルモノニ対シテモ独国側ハ法律上ノ根拠ナキモノト認メ居リ又實際ニ於テモ単ニ仏白ノ独断ニ依ル觀アル同会ノ権限及効力ニ関シ

ニ鑑ミ必ズシモ独逸側ノミヲ圧迫スルコトヲナサズ同国ヲシテ此際(脱)難キヲ忍ンデ其領土内ニ於ケル自国法令ノ一部執行ヲ停止セシムルト同時ニ仏白ヲシテ同様占領地ニ於ケル権力ノ一部執行ヲ停止セシメ双方ニ怨ナク同一程度ノ譲歩ヲナサシメテ各方面ニ大ナル不平無カラシムル實際的解決ノ唯一ノ救策ナリト認ム

六、依テ我方ニ於テモ右英国ノ方針ヲ採用シ此上ハ仏白両国ヲシテ独逸同様第三国ノ利益ヲ尊重シテ譲歩セシムル様極力交渉方御取計ヒヲ請ヒ当方交渉ハ前電末段期日延長ノ点ノミニ止ムルコトト致シタシ

在仏大使、漢堡へ転電セリ

一四九 三月三十一日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

三 谷書記官ノ調査結果統報ノ件

第二三一号

(四月一日接受)

貴電第一三六号ニ関シ

一、三谷ハ満鉄代表者富永同伴三月十九日夜巴里発「ケルン」「コブレンス」「ジュッセルドルフ」「エッセン」ニ於テ主トシテ仏国官憲連合側領事独逸工場ニ付テ調査

三 フランス、ベルギー両国軍隊ノルール占領 一四九

テハ法律上容易ニ決シ難キモノアリ

三、右ノ事情ノ下ニ独国力進テ往電第六一号一定条件ノ下ニ除外の措置ヲ講シタルハ事態ヲ考慮シテ侵入ニ関係ナキ第三国ノ利益ヲ真ニ尊重シタル極度ノ譲歩ト認ムヘク之以上ニ譲歩ヲ求ムルコトハ余リニ現下ノ事態ヲ無視シタル様ニ解セラレ交渉ノ途ナキ様認メラルノミナラズ強テ之ヲ試ミルハ挙国一致今ヤ努力ノ頂点ニ在ル独国ノ対仏抵抗ニ対シ仏白ノ行動ヲ是認シテ正面ヨリ一撃ヲ加フルコトニシテ独国官民ノ反感ヲ激発スルニ過キサザヘシ

四、本件ハ申ス迄モナク一般ノ禁輸問題トハ頗ル趣ヲ異ニシ独仏官民ノ感情ヲ基礎トシテ實際的解決ヲ計ル要アル処独国政府ニ於テ幸ニ貴電我方希望ヲ容レタリトスルモ激昂セル製造業者中進テ許可申請ヲ為ス者ハ極メテ稀ナルヘク且赤熱セル労働者ハ占領官憲ノ輸出許可アルモノノ完成引渡輸送ヲ引受ケサルヘキコト当該地方ノ人氣ニ徴スルモ明白ニシテ從テ注文品ノ輸出ハ實際ニ於テ不可能ニ帰着スヘシ

五、前電英国商務官ノ内話セル解決方法ハ蓋シ以上ノ事態

シ二十四日帰巴セリ

二、独逸側協力トハ例ヘハ独逸工場所有自動車ノ提供運送ニ従事スル独逸労働者ノ協力等ヲ指ス

三、貴電末段ニ関シテハ満鉄、三菱、大倉ノ注文品孰レモ一律ニ往電第一九五号ノ手続ニ依ルヘキモノナリ就中貴電第一〇七号三菱取扱鉄道省注文ノ軌条ニ関シテハ目下鉄道省ノ名義ニ於テ輸出許可取付ノ手続中ナリ本件仏白占領官憲ノ関税徴収ニ関シテハ当地新聞紙ノ報スル処ニ依レハ米国政府ハ三月十四日公表文ヲ発表シテ之ヲ承認シ英国政府モ議會ニ於テ議員ノ質問ニ對シ之ヲ認ムル旨答弁シタル趣ナリ依テ我政府トシテモ進ンテ仏白ノ関税徴収權ヲ否認セムトスルニ於テハ兎ニ角然ラサル限り唯注文済ノ商品ニ對シ特殊取扱ヲ要求スル外ナカルヘシ尚累次貴電ノ趣ハ当国外務省ヲ通シテ篤ト先方ニ交渉中ナリ將又此種ノ苦情ハ本邦而已ナラス英米「スカンデナビア」諸国等ニ於テモ当惑セル向鮮カラサル模様ニテ往電第一九五号ノ手続ノ如キモノニ此種第三国側ノ要求ニ応シテ制定セラレタルモノナリ乍併独逸側ノ抵抗依然強硬ナルト共ニ仏白モ「ルール」ニ對スル封鎖ヲ一層嚴重ニ

シテ独逸ヲ屈服セシメントシツツアル現状ナルヲ以テ前記ノ手続ノ如キモ事実容易ニ実効ヲ奏セス三谷カ「ケルン」英国総領事「クルップ」重役等ヨリ聞キタル処ニ依ルモ同地方ヨリノ輸出ハ目下皆無ナリト云フ

在欧米各大公使、漢堡、管下各領事へ暗号ノ儘郵送セリ

一五〇 四月四日 在独国日置大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

独国政府ノ貨物供給禁止命令ニ関スル件

第七二号

(四月五日接受)

独逸政府ハ三月二十九日付命令ヲ以テ「ルール」占領国官憲其ノ他独逸国法上権限ヲ有セザル筋ノ協力ノ下ニ註文者又ハ其ノ他ノ受取人ニ仕向ケラレアルコト明カナルカ若ハ推定サルル場合貨物ヲ供給シ又ハ其ノ他ノ給付ヲ行フコトヲ禁ジタリ

仏国漢堡へ転電セリ

一五一 四月六日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

製鉄原料品ノ無税トナリタル旨仏国外務省ヨリ

リ通告ノ件

出タリト云フ

一五三 四月九日 内田外務大臣ヨリ
在独国日置大使宛(電報)

高級委員会ノ決定ヲ拡大シテ承認シ独国製造

家ヲシテ輸出許可申請ニ同意ヲ与エル様交渉

方訓令ノ件

第二一号

貴電第六八号ニ関シ

仏国ノ行動ヲ是認シ独逸官民ノ反感ヲ激発スルノ好マシカラザルハ貴見ノ通ニシテ殊ニ「ルール」占領ガ適法妥当ノ措置ナリヤニ就テハ講和条約賠償編第二付属書第十八ニ顧テ論議ノ余地アリ帝國政府ニ於テモ此点ニ関スル無益ノ表示ヲ避クル方針ナルガ之ヲ本邦約定品ノ立場ヨリ見ルニ満鉄、鉄道省等ノ国用品ヲ初メ産業文化上必要欠クベカラザルモノ殆ド全部ヲ占メ且急速積出ヲ得ザル限り今ニ及デ他ヨリ入手ノ道無ク而カモ之等ハ独仏両国ノ互譲ニ因ラザル限り輸出ヲ見能ハザル事態ニアリ然ルニ仏国側ハ既ニ高級委員会決定通り相当讓歩ヲ示セルニ不拘独逸側ハ今尚ホ相互無干渉主義ヲ固執シ「占領官憲ノ規定適用抛棄」ナル望

三 フランス、ベルギー両国軍隊ノルール占領 一五三

第二五六号

(四月七日接受)

貴電第一四〇号ニ関シ

独逸大臣宛第六二号守島書記官報告ハ三月二十五日以前ノ狀況ト存セラルル処往電第二二七号輸入税ヲ独逸時代ノ制度ニ復帰セシメ其ノ結果製鉄原料品ノ無税トナリタルハ三月二十五日以後ノコトニシテ右ニ付テハ当国外務省ヨリ三月二十六日付公文ヲ以テ通告アリタリ

一五二 四月九日 在ハンブルグ蜂谷総領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

満鉄ルール問題ニ関シ独国側商社ヨリ解約シ

度キ意向申入レノ件

第二五号

(四月十日接受)

満鉄「ルール」ノ件ニ関シ

最近 Deutsch, Luxemburg 側ヨリ当地高田ニ対シ若シ今後数週間内ニ仏白側カ「ライセンズ」及税金等ヲ要求セスシテ輸出ヲ認メ呉ルルノ見込ミ立タサルニ於テハ原料欠乏ノ関係モアリ一先ツ解約シ度キ旨申来タレリ「クルップ」ハ未タ三井ニ対シ右様申出ヲナシ来ラスト尚聞ク処ニ依レハ Gutehoff Nungshuette ハ本件註文引受ケヨリ脱退方申

デ違カニ得ベカラザル条件ヲ付シ外国約定品ノ輸出ヲ權力ニヨリ依然トシテ不可能ナラシムル次第ナリ

本来仏国側所定ノ輸出取締令ハ占領後ノ措置トシテハ適当ト被認レ即チ徵税ハ「独逸賠償金ニ関スル最後決定」第四条ノ趣旨ヲ便宜復帰セントスルモノニシテ「ライセンズ」発給亦管理ニ伴フ当然ノ措置ナルベク而カモ後日輸出数額ヲ明カニスル上ニ於テ独仏双方ノ為メ有益ナリ將又之ヲ実益ヨリ見ルモ独逸ニ於テ相互無干渉ヲ固執スル限り徒ラニ製品ニ対スル代金受領ヲ困難ナラシメ向後ノ賠償難ヲ切実ニシ外国注文者其他ヲシテ不測ノ損失ト支障ヲ蒙ラシメ曳テ対独同情ヲ殺滅セシムルニ終ル虞アリ

前記ノ次第ナルニ就テハ「ルール」占領ノ是非ニ関スル根本問題ヲ離レ單ニ外国約定品輸出難緩和ノ見地ヨリ往電第二〇号訓令ノ通兎ニ角独逸政府ニ対シ此際無条件ニ高級委員会ノ決定ヲ本大臣宛在仏大使宛電報第一二三号ノ趣旨ニ拡大シテ之ヲ承認シ独逸製造家ヲシテ外国注文者ノ輸出許可申請ニ同意ヲ与ヘ得セシムル様取計方篤ト御交渉ノ上結果回電セラルル様致度シ(在本邦独逸大使ヘモ申入レノ筈)製作運送等ニ関スル事実上ノ支障ニ就テハ貴見尤モナルモ

一九七

右ハ独仏両国ノ権力の障害除去セラルルニ於テハ製造家ニ
対スル注文者ノ「プレス」ト相俟テ漸次緩和セラルベク此
際考慮外ニ置キ可然シ

本電在仏英各大使及在漢堡總領事ヘ転電アレ

一五四 四月十一日 在仏国外務大臣ヨリ
在仏国松田臨時代理大使宛（電報）

仏国側トノ交渉結果ヲ回電方督促ノ件

第一八六号

往電第一二三号ニ関シ

成ルベク速カニ交渉ノ結果回電アリタシ尚在独大使発本大
臣宛電報第六一号ノ独逸側態度ニ関シ仏国側ニテ如何ニ考
慮シラレルヤ為念併セ電報アレ尚ホ往電第一二三号在英大
使ヘ暗送アレ

一五五 四月十二日（着） 在英国林大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

英国中欧部長、同国既約品引渡ニ関スル対仏

独交渉回答ノ件

第二四二号

貴電第七七号ニ関シ早速中欧部長ニ問合セ置キタル処七日

言ヒ或ハ吾人ガ英商トノ既約取引ノ履行ヲ容易ナラシムル
事ガ独逸貿易ノ為唯一ノ策ナル事ヲ指摘シタルニ対シ独逸
政府ハ仏国ニシテ輸出特許手数料及関税全部ヲ捨テザル間
ハ何等斯ル取極メヲ為シ得ズト答ヘ或ハ英商ガ輸出特許ヲ
郵便ニテ出願スレバ宛名知レズトテ返送シ来ル等種々ノ故
障ヲ設ケ仏国ガ前記ノ通り我要求ヲ容レタルニ拘ハラズ独
逸政府ハ如何ナル事情アルモ同国人ヲシテ英国トノ取引ヲ
履行セシメザル様断然決意シ居レリ
仏、独及漢堡ヘ転電セリ

一五六 四月十二日 在ハンブルグ蜂谷總領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

レール注文契約ヲ解除シタキ旨独国側希望ノ

件

第二六号

（四月十三日接受）

往電第二五号ニ関シ Dortmund Union ハ「シーメンス」
ヲ通シ本件カ今月中ニ解決セサルニ於テハ「レール」註文
契約ヲ解除シ度キ旨申出タリ

一五七 四月十四日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛

付書面ヲ以テ本件ニ関シ英国政府ノ執リタル処置ニ付テハ
議會ニ於ケル外務次官及商務大臣ノ説明（夫々三月十三日
及同二十八日）以上ニ付言スベキ事ナシトテ当該議事録同
封回答アリタル処右説明中ニハ我方交渉ノ参考トナルベキ
的確ナル事実無キモ為念左ノ諸点摘録ス

英国政府ハ仏独両政府ニ対シ占領継続中英国内ト同地方トノ
商取引ヲ容易ナラシムル事ハ英国ニ取り極メテ重大ナル
所以ヲ説キテ英国人ヲ当事者トスル一切ノ契約及英国対占
領地域ノ総テノ輸出入ニ付経済的ニモ行政的ニモ占領前ト
全然同一ノ義務ニ服スルニ止マル様何等取極メヲ結ビ度旨
申入レタル結果（一）仏国側トハ希望通ノ取極メヲ結ビ得タル
ニ付英会社ハ輸出許可ヲ申請シ得ルニ至レリ（尚其後仏国
側ハ輸出税全部ニ亘リ占領前ノ独逸関税率実施方希望シ居
ル旨通知アリタリ）（二）然ルニ独逸側ハ或ハ仏ノ徴収スル関
税ヲ支払ヘル貨物ヲ受領シテ英国会社ニ之ヲ引渡ス者ヲ五
ヶ年ノ懲役ニ処ス可シトナシ或ハ特ニ輸出入許可ノ出願及
手数料ノ支払ハ独逸商人之ヲ為サズ当該外国商之ニ代リテ
為ス様彼等ニ有利ナル取極メヲ結ビタルニモ拘ハラズ独逸
政府ハ独逸人ニシテ若シ取引ヲ行フ者アラバ処罰スベシト

占領地域外ノ独国内地ヨリ占領地帯ヲ通過シ

テ外国ニ輸出スル商品ニ関シライン高級委員

会決定ノ件

付属書 仏国外務省ヨリ在仏日本大使館ニ送付セラレシ

四月九日付ノート

ライン占領地高級委員会決議

大正十二年四月十四日

臨時代理大使 松田道一（印）

外務大臣伯爵 内田康哉殿

公第二二八号 （六月一日接受）

本件ニ関シ別添写ノ通り当国外務省ヨリ四月九日付「ノー
ト」ヲ以テ「ライン」占領地高級委員会決議ヲ当大使館ニ
送付致越候処右ニ依レバ四月十日以降占領区域外ノ独逸内
地ヨリ占領地帯ヲ通過シテ外国ニ貨物ヲ輸出スル場合ニハ
（一）占領官憲ニ独逸官憲ノ発行セル輸出許可証ヲ示シ右許可
証ニ輸出税支払済ノ表示アルトキハ輸出税ヲ徴収セザルモ
斯カル許可証ノ伴ハザル貨物ニ対シテハ占領地帯ヨリ輸出
セラルル場合同様課税スベク（二）元来輸出許可証ヲ要セザル
貨物ニハ其占領地帯ヨリ輸出セラルル場合ト同様課税セズ

(三)但シ何レノ場合ニ於テモ運送状又ハ船荷証券ヲ以テ其發送地ヲ証明セザル可カラザルコトト相成候尚ホ右決議原文何等御参考ノ為メ別紙ノ通及送付候間御査閲相成度此段申進候 敬具

(付屬書)

仏国外務省ヨリ在仏日本大使館ニ送付セラレシ四月九日付ノ
一、

マヘン占領地高級委員会決議

Ministère
des

Affaires Étrangères

Direction
des
Affaires Politiques et
Commerciales.
Paris, le 9 avril 1923.

Se référant à sa note du 21 mars dernier, le Ministère des Affaires Étrangères a l'honneur de faire parvenir ci-joint à l'Ambassade du Japon le texte d'une décision prise par la Haute Commission Interalliée des territoires rhéans occupés en vue de faciliter le transit des marchandises exportées d'Allemagne vers les pays étrangers à travers lesdits territoires.

ritoires occupés.

Les marchandises exemptes de licence d'exportation en provenance de l'Allemagne non occupée et transitant par les territoires occupés, à destination d'un pays étranger à l'Allemagne seront exemptes du paiement de tous droits de sortie, à leur sortie des territoires occupés, au même titre que les marchandises de même espèce expédiées directement des territoires occupés.

Il devra être justifié, dans tous les cas, du point de départ de la marchandise par la présentation au Bureau de sortie du titre de transport accompagnant l'expédition, (lettre de voiture ou connaissance).”./.

Ambassade du Japon,

Paris.

一五八 四月十五日

在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

独国被占領地帯ヨリノ商品輸出ハ至難ト考エ

ラレル旨意見具申ノ件

第二七七号

(四月十六日接受)

貴電第一八六号ニ関シ貴電第一二三号ニ付テハ独逸、漢堡、英及当方累次ノ電報ニテ御承知ノ如ク独逸側ノ妨害盛

三 フランス、ベルギー両国軍隊ノルール占領 一五八

Cette décision entrera en vigueur le 10 de ce mois./.

La Haute Commission a adopté dans sa séance du 29 mars 1923 sur la proposition de son Comité Directeur des Douanes la décision suivante modifiant le régime des marchandises sortant de l'Allemagne non occupée à destination de l'étranger à travers les territoires occupés.

“Les marchandises soumises à la licence d'exportation en provenance de l'Allemagne non occupée transitant par les territoires occupés pour se rendre dans un pays étranger à l'Allemagne sont exemptes du paiement de tous droits de sortie à la sortie des territoires occupés, sur présentation, au Bureau de sortie effective desdits territoires, d'une licence d'exportation délivrée par un organisme compétent d'Allemagne non occupée et portant la mention du versement de la taxe à l'exportation dans une caisse d'Allemagne non occupée. Les marchandises de l'espèce non accompagnées d'une licence d'exportation ainsi annotée, seront soumises au paiement de la taxe à l'exportation dont elles seraient passibles, si elles étaient exportées directement des ter-

ナル今日仮ニ御来示ノ通り仏国側ヲシテ承諾セシムルモ我目的ヲ達スルヲ得ズ然ルニモ拘ハラズ貴電ノ趣旨ヲ強ク主張スルニ於テハ或ハ連合国ノ一員タル帝国ニ対シ仏国側ヲシテ徒ラニ不快ノ念ヲ抱カシムルニ過ギザルノ虞アリ從テ本件解決ノ唯一ノ途ハ独逸発大臣宛電報第六一号独逸側提議ニ対シ仏側ヲシテ之ニ相応スル讓歩ヲ為サシムル外ナキ処右ニ関シテハ曩ニ三谷ヲシテ当地英國大使館付商務官ノ意見ヲ求メシメタルニ同人ハ所謂英仏間交渉ニ付テハ何等知ル処無シトテ英發貴大臣宛第一八三号英國政府答弁ト同様ノ議會ニ於ケル政府ノ説明ヲ示シテ右ニ依リテ現状ヲ知ラレタシト答ヘ將又仏国外務省當局ニ付テ本件ニ関スル仏国側ノ意向ヲ探リタルニ係官ハ目下ノ処独逸側ノ提議ニ基キテ仏国政府ニ交渉セルハ瑞典、丁抹、和蘭ノ三国ノミニシテ英米ハ更ナリ瑞西ト雖敢テ申出ズル処ナシト前提シテ仏国側ハ独逸ニ代リテ占領地ニ於ケル輸出入ヲ管理スルモノニシテ問題ハ此ノ吾人ノ權利ヲ認ムルヤ否ヤノ主義ノ点ニ存シ金錢ノ問題ニ非ズ故ニ輸出入税徴収ヲ一定商品ニ対シテ全然拋棄セシメトスル独逸側提議ニ対シテハ何等考慮ノ余地ナシト答ヘタリ事態上述ノ如キヲ以テ局面ノ展開

ヲ見ザル限り独逸被占領地帯ヨリ商品ヲ輸出スル事ハ至難ト存ズ

英、独、漢堡へ暗号ノ儘郵送セリ

一五九 四月二十日

在独国大野臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

本邦注文品ノルール輸送ニ関シ独国外務省主

任官内報ノ件

第八五号

(四月二十一日接受)

貴電第二一七号ニ関シ御訓令ノ趣旨ニ依リ大使及本官ニ於テ折角当局ト懇談ヲ重ネタル所十九日本官ノ督促ニ対シ外務省主任官ハ未タ極内密ナリトテ左ノ通回答セリ

本件ニ関シテハ他ノ利害関係国ヨリモ色々希望申出アリ慎重考慮中ナリシカ漸ク成案ヲ得タルニ付両三日中ニ関係各省間ノ決定ニ付スヘシ右案ハ二月二十日前ニ確定的ニ決セル外国注文(在独当該官憲ノ証明アルモノ)ニ限り独製造家ノ占領官憲ニ対スル輸出許可申請ヲ禁止ヲ解除スルト同時ニ製造家カ愛国心及労働者ニ対スル関係上自ラ進ムデ申請ヲ為サザル場合ニ之ヲ強制スルコト困難ナルニ顧ミ外国注文者ノ申請ヲ認メムトスルモノニシテ輸出税等ヲ占領官

往電第一二三号訓令ノ措置ヲ(独逸側ノ態度緩和ニ言及セズシテ)執ラレタシ

尚今日マデノ届出ニヨレバ本邦約定品ハ二月二十三日以後ノモノ無シ便宜二月二十五日マデヲ限度トシテ可ナルベシ

一六一 四月二十八日(着)

在独国林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

占領前ノ契約品ニ付テハ新協定成立セルニ依

リ輸出許可トナル旨ノタイムス紙報道ノ件

第二八〇号

往電第二四九号ニ関シ二十五日ノ「タイムス」ハ「ジュセルドルフ」特派員通信トシテ最近独逸側ノ譲歩ニ依リ本件輸出手続ニ関シ新協定成リタルニ依リ或ハ今週中ニモ実現セラルヘキ旨並右ハ占領前ノ契約品ニ限ラルヘク占領後ノ分仏国側ニシテ同一態度ニ出ツルニ於テハ独逸モ亦英国品輸出特許ノ問題ヲ抛棄スヘキ意向ナル旨ノ電報ヲ掲ケ居ルニ付館員ヲシテ外務省係員ニ就キ確メシメタル処占領前契約品ニ付最近独逸政府ハ輸出特許ノ申請ヲ英国人自ラ為スニ於テハ「ルール」地方ヨリノ輸出モ許可スヘシト折合ヒ来リ(往電第二四二号中段参照)近々之カ実現ヲ見ルニ至

憲ニ仕払フコトノ禁止モ之ヲ解除スルモノナリ

依テ右ハ高級委員会ノ決定ヲ承認スルコトナルモノナリヤト確メタルニ然リト答ヘタルニ付更ニ本邦側ノ事情ヲ篤ト説明シテ右期日ヲ已ニ申込シ通三月十日迄(往電第六一号ニ二月末日トセルモ實際交渉ノ際ニハ右期日トセリ)延長セムコトヲ要求シタルニ右ハ頗ル困難ナル事情アルモ日本ノ立場ヲ考ヘ今一応協議ヲ重ネ出来得ル限り貴意ニ副フ様尽力スヘシト約シタリ

右案ナラハ独側ノ権力関係除去セラルルコトナク不都合ナシト認メラルルモ尚確定次第内報シ来ル筈ニ付其上電報ス英、仏、漢堡へ転電セリ

一六〇 四月二十三日

内田外務大臣ヨリ
在独国松田臨時代理大使宛(電報)

独国側ノ態度決定ト同時ニ直チニ訓令ノ措置

ヲ執ル様指示ノ件

第二一五号

貴電第二七七号ニ関シ

在独大使宛本大臣宛電報第八五号ニ鑑ミ聽テ独逸側ノ態度決定ト同時ニ直チニ約定品ヲ輸出シ得シムル様貴官ハ此際

ルヘキコトト存スルモ其ノ日取其ノ他詳細ノ点ハ承知セス占領後ノ分ハ未タ解決ヲ見ストノ返事アリタル趣ナリ仏独へ転電セリ

一六二 五月二日(着)

在独国林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ルールヨリノ既約品輸出ニ関スル独国側譲歩

ハ事実トナリタル旨ノタイムス紙報道ノ件

第二八六号

本使発在仏大使宛

第二三一号

四月三十日「Times」デュセルドルフ通信ハ「ルール」地方ヨリノ既約品輸出方ニ関スル今回ノ独逸側譲歩ハ今ヤ事実トナリタル旨並ニ右ハ二月二十日前ノ契約ニ限り適用アリ輸出許可証ヲ有スル独逸人ヨリ独逸国内占領国民以外ノ諸国民ニ引渡ヲ為シ右引渡ヲ受ケタル後仏白側ノ特許ヲ受ケ輸出ヲ為シ得ヘキコトトナリタル旨ヲ報シ居レリ御参考迄

外務大臣及在独大使へ転電セリ

一六三 五月二日 在独国日置大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

独国外務省ヨリ内報セル新規則報告ノ件

第九六号

(五月三日接受)

往電第八五号ニ関シ五月一日外務省ヨリ確定新規則左ノ通
内報アリ

三月十六日付規則(漢堡免外務大臣宛第二〇号)第二条第
二号並第三号及三月二十九日付規則第一条(往電第七二
号)ノ規定ハ本年二月二十日以前ニ独逸商社ト「ルール」
占領非参加国人トノ間ニ締結セル商取引ニ基ク物品ノ引渡
及受取ニハ適用セス但右ハ当該独逸会社ニ於テ引渡若クハ
受取以前ニ独国ノ輸出入許可ヲ得タル場合ニ限ル
右ニ依レハ既報ノ案ト異ナリ独逸商社ハ依然占領官憲ニ輸
出許可ヲ申請スルコトヲ禁セラルルモ今後買主カ占領官憲
ヨリ輸出許可ヲ取付タル物品ハ独逸商社ニ於テ独逸側ノ輸
出入許可ヲ取付タル上買主ニ引渡得ルコトナリ輸出自由
トナレル次第ニシテ輸出税ニ重私ノ点ハ独逸側輸出税大抵
減ノ今日關係者ニ取り大ナル苦痛ニアラサルヘシ從テ右ニ
テ独逸側ノ消極的抵抗ハ大ニ緩和セラレ實際輸出上ノ故障

布セラレタル件

第一〇五号

(五月八日接受)

往電第九六号「ルール」輸出入ニ関スル新規則五月五日独
国官報ニテ公布セララル

英仏ヘ転電シ漢堡ヘ暗号ノ儘郵送セリ

一六六 五月十一日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

二月一日以後ノ契約ニ付テハ我が要求ニ応ジ

難キ旨仏外務省係官応答ノ件

第三三〇号

(五月十二日接受)

貴電第二四八号ニ関シ

三月十五日ノ高級委員会決定ニ対スル我方要求ニ付テハ其
後外務省ヲ通シ折角交渉中ナリシ処今回御来示ノ次第モア
ルニ付更ニ館員ヲシテ独逸側讓歩ノ報ヲ齎シ外務省ニ赴キ
其意見ヲ求メタルニ係官ハ二月一日以後ノ契約ニ付テハ仏
白側ニ於テ税関ヲ占領シテヨリ既二十日以上ヲ経タル後ニ
至リ締結セラレタルモノナレハ独逸側商人モ其契約ヲ為ス
ニ当リ仏白側ヨリ輸出特許ヲ受クル必要アルヘキハ十分予
知シ得タル筈ナルヲ以テ此種契約ニ基ク商品ニ対シテハ独

ハ除去セラルルモノト認ムヘク契約期日ノ問題ニテ当方ノ
請求通ラサリシハ遺憾ナルモ今日ノ事態ニ於テ已ムヲ得サ
ル義ト思考ス新規定ハ五月三日公表ノ上実施ノ筈
英、仏、漢堡ヘ転電セリ

一六四 五月三日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ルール地方輸出税ニ関シ仏国外務省ヨリ新税

率通知ノ件

第三三〇八号

(五月四日接受)

「ルール」地方輸出税ニ関シ

五月一日以降從來ノ十「パーセント」ノ從価税ヲ廢シ同シ
ク ad valorem ノ新(脱)ヲ以テ之ニ代フルコトニ決定右
ハ独逸占領地帯全部ニ適用アル旨五月二日付当国外務省ヨ
リ通知アリタリ尚ホ新税率ハ外務省側ノ説明ニ依レバ一九
二一年ノ独逸輸出税率ニ依ルモノナリト云フ
英、独、漢堡、里昂、馬耳塞ニ転電セリ

一六五 五月七日 在独国日置大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ルール輸出入ニ関スル新規則独国官報ニテ公

逸商人ニ於テ特許ヲ請求スヘキ筋合ナルニ依リ遺憾ナカラ
我方ノ要求ニハ応シ難シ尤モ三月十五日ノ決定カ其出願期
限ヲ五月一日ニ限レル点ニ付テハ右期限後ト雖モ外務省ニ
於テ当方出願ヲ取次クコトニ取計フヘキ旨答ヘタリ尚從來
屢次御電訓ノ趣旨ニ依リ交渉シタル処ニ顧ミレハ二月一日
ノ期限ヲ二月二十日或ハ二十五日ニ延期セシムル等「プリ
ンシプル」ニ於テ三月十五日決定ニ変更ヲ加フルコトハ仏
白側ノ承認ヲ得ルコト至難ナリ寧ロ二月一日以後ノ註文ト
雖之ヲ個々具体的ニ仏白側ニ提示シ交渉スル方先方ノ同意
ヲ得ルコト比較的容易ナルヤニ思考セラルルニ付テハ契約
締結カ二月一日以前ト以後トヲ問ハス「ルール」地方ニ註
文ヲ有スル我方商人等ニシテ独仏双方ニ輸出税ヲ支払ヒ商
品ノ引渡シヲ受ケントスルモノハ此際至急当大使館ヲ通シ
テ仏白側ニ許可証ヲ申請セシメラルルモ一策カト思考ス右
ニ関シ手続等ノ詳細ハ關係在外公館ヘ郵報シ置ケリ尚往電
第三二六号「クルップ」投獄以来「ルール」地方ノ消極的
抵抗ハ益々強硬トナリタル模様ナレハ運送其他事実上障碍
排除ニ付テハ別ニ考究ヲ要スヘシ
英、独、漢堡ヘ暗送セリ

一六七 五月十九日 内田外務大臣ヨリ
在仏国松田臨時代理大使宛（電報）

ルールヨリノ輸出手續ニ関シ期限延長方仏国

政府ニ交渉訓令ノ件

第二七七号

貴電第三三〇号ニ関シ

仏国係官ノ言分ガ禁止令發布ノ二月十一日以前ノ約定品ニ就テ不条理ナルハ言ヲ俟タズ其後ノ分ニ対シテモ一方独逸商社ニ於テ「ルール」占領問題ノ解決ニ万一ノ希望ヲ繋ギ尠クトモ局外国民ノ注文品輸出上独仏両国政府ニ於テ何等カ便法ヲ講スルニ至ルベキヲ予期セルノ無理カラヌハ該占領行動ノ将来如何ニ展開スベキヤニ就テ関係国政府当局以外何人モ根拠アル推断ヲ難シトセル当時ノ事情ニ鑑ルモ明カナルベク他面本邦側ニ於テハ地理的ニ遠隔ナル等ノ関係上自ラ速カニ「ルール」占領ノ急変スル事態ニ通ズルニ便ナラザルモノアリ特ニ貴電第三八号首相ノ声明、同第八九号殊ニ又同第二〇六号政務局長ノ談等ニ拠リ充分仏国政府ニ於テ我商社ノ利益並之ニ伴フ本邦産業文化上ノ必要ヲ顧念スベキヲ確信シ来レルノミナラズ輸出禁止令ノ内容ハ

報セラレタシ

一六八 五月三十日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

高級委員会決定ニ基ツク輸出許可申請ニ関ス

ル件

第三六五号

（五月三十一日接受）

往電第三三〇号ニ関シ

三月十五日高級委員会決定ニ基ク輸出許可申請ハ除外例ニシテ六月三十日迄之レヲ受理ス可キモ右ニ対シテハ之レヲ五月一日以前ニ提出セザリシ事情ニ関シ当大使館ノ証明ヲ要スル事ニ五月十六日「ライン」高級委員会ニテ決定セル旨五月三十日当国外務省ヨリ通牒アリタリ
尚ホ同一高級委員会決定ニ依リ二月一日以前ノ契約ニ対シ外国人ノ売手ニ於テ独逸側輸出商ニ代リ輸入許可ヲ請求スル事ヲ外国人買主ガ独逸側売手ニ代リ輸出許可ヲ申請スル場合ト同様ノ条件ノ下ニ認メタリ右出願期間ハ六月三十日ナリ高級委員会決定原文郵送ス
英、独、漢堡ニ転電セリ

三月十一日始メテ貴電第一八一号ニヨリ本邦ニ公報セラレタル次第ニシテ尠クトモ二月二十日以前ノ分ハ総テ実需ニヨリ而カモ投機的ナラザル注文ト確認セラレ其速カナル引取ヲ必要トスル儀ナリ若シ仏国側ニ於テ二月一日以後ノ分

ニ付便法ヲ肯ゼズトセバ独逸政府ニ於テ独逸商社ノ仏国側ニ対スル申請ヲ許サザル結果遂ニ向後当該約定品輸出ノ見込立タザルニ至ルベク右ハ本邦ニ執リ深刻ナル影響ヲ及スト共ニ高級委員会決定ノ趣旨ヲ没却スルモノト云フベシ就テハ貴官ハ右ノ趣旨ヲ以テ係官ノ所説ヲ反駁スルト共ニ至急仏国政府ニ対シ独逸側ノ措置ト相俟テ局外国民ノ利益ヲ損セザル様該期日ヲ二月二十日マデ延長方充分交渉ノ上結果回電アリタシ

尚貴官ニ於テ「個々ノ交渉方」先方ノ同意ヲ得ルニ容易ナリト信セラルル理由為念承知シ度

尚貴官ヲ通シテ許可申請方ニ就テハ既ニ当業者へ通達ズミナルガ曩ニ訓電セル満鉄鐵道省用品等ニ就テハ此上共輸出ニ手續上ノ遲滞ヲ見ザル様尽力アリタシ当省ニ届出アリタル約定品表郵送ス

出願期日決定ニ関スル報道ノ如キ本件ニ関係深キモノハ電

一六九 六月一日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛

占領地方輸出入ニ関スルライン高級委員会新

決定送付ノ件

付屬書

五月十六日付ライン地方連合会間高級委員会決議書訳文

大正十二年六月一日

在仏

臨時代理大使 松田道一（印）

外務大臣伯爵 内田康哉殿

公第三二九号 （七月七日接受）

本件ニ関シ三月十五日ライン高級委員会決定ニ基ク輸出許可申請受理期限ノ延長並占領独逸領土内輸入ニ関スル新手續ニ付テ五月十六日ライン高級委員会決定ノ次第ハ五月三十日当国外務省ヨリ通牒有之直ニ其大体ヲ電報ヲ以テ申進候処玆ニ原文及送付候条御査閲相成度此段申進候也

（付屬書）

五月十六日付ライン地方連合会間高級委員会決議書訳文

A—輸出許可申請ニ対スル対独輸出業者外国商人代人ノ申

請ノ委託ニ対シ五月十五日高級委員会ノ決議セル制限期間ハ大体ニ於テ一九二三年五月一日迄ナリ

然レトモ連合国間許可局ニヨリ特別事情ノ為五月一日迄ニ申請ヲナシ得サリシ善意ノ購買者ニヨリ遅延シテ成サレタル申請ハ例外トシテ五月十五日ノ決議ニヨリ定メラレタル条件ヲ満足スル場合ニ於テ受領ナサルコトヲ得ヘシ遅延シタル申請ノ受領サルル為ニハ該申請ハ関係者ヲシテ五月一日迄ニ申請ヲ為シ得サリシ事情ヲ証明スル証明書ヲ伴フヲ要ス

本証明書ハ五月十五日決議ニヨリ定メラレタル同様ノ権能ヲ発スルモノナリ

該申請ノ受領為サルル制限期日ハ例外トシテ一九二三年六月三十日限ト決定セリ

B、購買カ一九二三年二月以前ノ註文ニ対スルモノナル場合殊ニ供給品ノ全部又ハ一部支払ノアル場合連合国間官庁ハ外国購買者ニ対シテ失敗セシ独逸輸入業ニ代リ輸入許可ノ申請ヲナスコトモ許可シ得

上述条件ノ一カ満足セラレサル場合ニ於テハ連合国間官庁ハ例外トシテ特別輸入ヲ許可スルヲ得

註文ノ受領セラルル制限期間ハ一九二三年六月三十日限ト決セリ

一七〇 六月七日 内田外務大臣ヨリ
在仏国松田臨時代理大使宛 (電報)

塚本商會社社注文ノガス管輸出証明ニ関スル件

第三二四号

貴電第三六五号ニ関シ

塚本商會社ハ Illies 商會ヲ通シ東京瓦斯会社社註文ニ係ル瓦斯管二十二万呎ヲ Hansche Werke, Grossenbaum, Dueseldorf, ヨリ客年十二月四日並十二日買付ケ其一部ハ已ニ受取済ナルカ残品輸出特許ノ為メ菊地十三太^{トミタ}ヲ代理人トシテ貴館宛証明願出シムルコトナレニ付キ其際ハ可然御取計アリ度シ

一七一 六月十二日 在仏国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

我が注文品ノルール輸送ニ関シ仏国外務省見

解表明ノ件

第三八五号

(六月十三日接受)

貴電第二七七号ニ関シ

上述ノ如キ特殊ノ方法ヲ得ル為ニハ外国購買者ハ連合国間関係事務局ヘ申請ヲナス可シ

即

デュセルドルフ橋頭、デュイスブルク及バッセン、ド、ラ、ルール占領地以外ノ占領地域内ノ諸商館宛ノ商品ハ高級委員会許可係委員会ヘ申請ヲ提出スヘシ

又デュセルドルフ橋頭、デュイスブルク及バッセン、ド、ラ、ルール占領地内ノ諸商館宛ノ商品ハエッセンノ工場及鉱山ノ監督課許可係ヘ申請ヲ提出スヘシ

該申請ハ申請ノ日付時トシテハ二月一日迄ノ供給品ノ全額或一部額支払ノ証明書ヲ伴フコトヲ要ス

本証明書ハ

イ 右購買者カ高級委員会ニ或ハ連合国間ノ許可事務局ニ代表セル国家ノ一ニ属スル場合ニ於テ該事務局ニアル右購買者ノ国家ヨリ支給サルヘシ

ロ 右購買者カ高級委員会ニ或ハ連合国間許可事務局ニ代表セル国家ノ一ニ属セサル場合ニ於テハ連合国間ノ事務局ニ代表セル政府ノ側ニアル購買者ノ国家ノ政府ノ外交代表者ニヨリ発行セラルヘシ

過般來貴電ノ趣旨ニ基キ交渉セル所ニ対シ今般當国外務省ヨリ「ノート」ヲ以テ詳細ナル回答ヲ寄セ二月一日ノ期限ヲ延長スルコトニ付テハ往電第三三〇号掛官ノ述ベタル趣旨ヲ繰返シ且一度之ヲ承認スルトキハ結局際限ナク延期スルノ止ムヲ得ザルニ至ル虞アリ又日本ニ対シテノミ特種ノ手續ヲ認ムレバ聽テ一般ニ之ヲ及ボサザルベカラザルベク從テ遺憾ナガラ日本政府ノ希望ニ応ジ難キモ只日本ニ対スル一般的利害關係殊ニ明白ナル場合 (dans des cas d'intérêt général nettement précisé) ニ於テハ對独強制手段ノ効力ヲ弱メザル限リ特別詮議ヲナシ得ベク要スルニ日本側要求ニ応ズル為占領官憲ニ於テ尽力シ得ル所ハ輸出特許ノ実施ニ当リテ寛大ナル措置ヲ取ルニアリ依テ政府ハ仏軍司令官及在「コブレンス」仏国高級委員ニ右ノ意味ニテ訓令シ置ケルヲ以テ日本側出願ハ現行規則ト両立スル限リ凡ユル好意ヲ以テ審査セラルベシ云々ト申越セリ然ルニ前出特別詮議ノ適用アル場合必ズシモ明白ナラザルモノアルヲ以テ館員ヲシテ更ニ其意味ヲ確メシメタルニ掛官ハ例ヘバ独逸ノ同地方ニ非ザレバ生産セラレズ或ハ其価額ニ同地方品ト然ラザルモノトノ間ニ莫大ノ相違アルガ如キ場合將又

日本皇室ノ註文品ト云フガ如キ全然例外ノ場合ニ恩恵のニ特別詮議ヲナストノ意味ナリト説明セリ
英、独、漢堡ヘ転電セリ

一七二 七月九日 内田外務大臣ヨリ
在仏国石井大使宛(電報)

ルール地方注文品ニ関シ満鉄ヨリ障碍排除方
依頼ノ件

第三七九号

往電第二九号ニ関シ

Deutsch-Luxemburgische Bergwerks und Hütten A. G.
ハ仏国官憲ヨリOreノ輸入禁止及工場作業ノ妨害ヲ蒙リ満鉄注文軌条ノ製造不可能ナルニ付右障碍排除方ニ関シ斡旋アリ度旨満鉄ヨリ願出アリ委細貴地出張ノ富永ヨリ御聴取ノ上適當御措置アリ度シ

一七三 七月二十三日 内田外務大臣ヨリ
在仏国石井大使宛(電報)

我が注文品ノ輸出証明ニ関スル件

第四〇一号

往電第一四三号ニ関シ

我が注文品ニ対スルベルギーノ態度報告ノ件

第一五六号

(七月二十六日接受)

在仏大使發貴大臣宛電報第四五一号ニ関シ

同大使ヨリ申越アリ且ツ十六日「エッセル」代理人当館ヘ出頭シタルニ付皆川同行外務省中欧課長ニ懇談ノ為訪問セシメタル処偶然ニモ同代理人ガ「ルール」地方ニテ白国側交渉ノ相手方タリ且ツ右輸出許可ノ決定ヲ拒ミ居ル白国委員同席シ居タル為代理人ハ同課長ト皆川トノ会談ヲ待つ間モ無ク直接同委員ト会談ヲ進メタル処同委員ハ規則ハ厳重ニ適用スル方針ナリトノ説ヲ固持シ斯ル形勢ナリシヲ以テ中欧課長モ皆川ノ更ニ右貨物が本邦一般公益ニ関係アリ適當ノ方法ナキヤノ交渉ニ拘ラズ時日ヲ待ツノ外ナキ旨ヲ答ヘ遂ニ白国側ヲシテ速ニ輸出許可ヲ与フルノ途ニ出デシメ得ザリシ次第ナリ尤モ何故カ同商会代理人ハ時日ノ解決云々ニ満足ノ意ヲ表シ居タリ尚ホ其内ニ方法ヲ講ズベキモ現状不取敢
在仏大使ヘ暗号ノ儘郵送セリ

一七六 七月二十六日 内田外務大臣ヨリ
在仏国石井大使宛(電報)

Escher ヨリ輸出上ノ証明ヲ願出タリヤ又仏白官憲ニ於テ右輸出許可ニ異議ヲ称ヘ居ル事実アリヤ回電アレ

一七四 七月二十四日 在仏国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本大使館交付ノ証明書ニ対スル仏、ベルギー
一両国ノ態度報告ノ件

第四五一号 (七月二十五日接受)

貴電第四〇一号ニ関シ

Escher ニ対シテハ先ニ当館ヨリ証明書ヲ交付シ其ノ店員占領地ニ赴キタル所同地官憲ハ同商店カ瑞西人ナルノ故ヲ以テ日本政府ノ証明ニテハ許可スル能ハサル旨述ヘタル由ニ付当方ヨリ外務省ニ対シ右ハ日本ノ公益ニ関スル注文ナル事ヲ篤ト説明シテ掛合ヒタルニ係官ハ仏国委員ニ対シ之ヲ許可スル様訓令スヘキ旨約シタルカ白国側ハ在白大使館ノ交渉ニ拘ラス讓歩セサル趣ナリ貴電第四〇一号白ヘ転電セリ

在白大使ヘ転電セリ

一七五 七月二十五日 在ベルギー国安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

柴田商店ノ染料輸出申請ニ関スル件

第四一〇号

柴田商店ハBadische Aniline und Soda-Fabrik ヨリ客年十一月中買付契約ヲナセル Alizarine Blue S W 六千基同年七月買付 Rongalite C 未収品ノ中百斤八百箱同年八月買付 Alizarine Red V2a 未収品ノ中五十基入四十樽ヲ仏国側ノ為メ「ルードウィッヒスハーフェン」市ニ於テ押収セラレ居ル趣ニテ右輸出ノ為メJerome Walter Charraion Dupuy ナル者ヲ代理人トシテ貴館宛援助ヲ求メシムルコトトシタルニ付同人ヨリ願出ノ際ハ可然取計アリタシ尚柴田商店ハ「バーヂッシュ」会社其他諸外国人造染料ノ輸入販売ヲ目的トシテ明治二十九年設立セラレタル日本会社ナリ

一七七 七月二十七日 内田外務大臣ヨリ
在ベルギー国安達大使宛(電報)

我が注文品ノ輸出ニ関シベルギー側ニ交渉方
訓令ノ件

第五五号
貴電第一五六号ニ関シ

白国側ニ対シ三ツ引^{ミツビキ}ノ納期ハ六月乃至十月ニシテ右遅延スルニ於テハ東京市ノ電力供給ニ支障ヲ生ズル虞アル所以ヲ充分御説明ノ上至急輸出許可方御交渉アリ度尚如何ナル規則又ハ理由ニ拠リ許可セサルヤ為念併セテ回電アレ

一七八 七月三十日 在ベルギー国安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ベルギー当局ト再応交渉ヲ進メル為承知シタ

キ事情等回示方要請ノ件

第一五八号

(七月三十一日接受)

貴電第五五号ニ関シ

不取敢本使ヨリ更ニ外務大臣宛書面ニテ輸出許可方申入レ置キタル处在仏大使館ヨリハ Escher Lyee ハ三引ノ兄弟会社トシテ其際取引ニ当リ居ルモノナル由聞キ込ミタルモ同商会ノ在仏大使館宛書面ニハ三引ノ名見ヘズ在東京 Bagnall and Hills ハ同商会ニ注文アリタルモノノ如ク又中野、沢及湯沢ノ名見ユルモ其取引関係明白ナラズ当国其筋ヘ再応ノ話ヲ進ムルニハ其辺詳細承知シ置キタク白国側ニテ許可ニ同意セザルハ主トシテ代金未支払ノ点ニ在ル趣ニ付其辺ニ就キ疏明スベキ事情取引慣習等折返し御回示相

主管大臣トモ相談シテ本件ヲ解決スヘキ旨ヲ述ヘタルニ依リ成ルヘク速ニ許可ノ運ニ至ル様尽力セラレムコトヲ望ム旨ヲ繰返し置キタリ

一八一 八月十日 在ベルギー国安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

我が注文品ニ対スル其ノ後ノ措置ニツキベル

ギー外相通報ノ件

第一七一号

(八月十一日接受)

貴電第五五号ニ関シ

本十日当国外務大臣ヨリ「ルール」工場監督委員ノ報告ニ依レハ既ニ日本人注文ノ鉄製品二千噸ノ輸出ヲ許可シ又「エッセン」輸出許可事務局ハ当館ヨリ通報ノ許可請求(在仏大使証明ノ分当国外務省ヘモ通告シ置キタリ)ヲ調査中ナルカ唯本件輸出困難アリ即チ「ルール」輸出ニ関スル現行規定ハ「エッシエルビス」ノ如キ単純ナル仲介商人ノ輸出ヲ許ササルモノナルモ当方ノ申出モアリ且東京市民ノ上ニ生スヘキ損害ヲ考慮シ其ノ違法ニ拘ラス右監督委員ニ命シ本件ニ付再調査ヲ遂ケ適當ナル解決法ヲ見出ス様取計ヒタル旨申越セリ

成度シ

一七九 八月二日 内田外務大臣ヨリ
在ベルギー国安達大使宛(電報)

今次ノ買付事情等ニ関シ通知ノ件

第五七号

貴電第一五八号ニ関シ

Bagnall ハ日本会社ニシテ其株ハ三ツ引^{ミツビキ}(三菱ニ非ラス)ニ於テ全部買取シ居リ今次ノ買付ハ「バ」ヲ通シ三ツ引カ Escher ニ注文セルモノニシテ契約當時既ニ代金三分ノ一ハ当地ニテ支払済ノ由尚五月二十二日付通商機密合第一三二号参照アレ中野沢及湯沢ハ鉄管ヲ使用スル土地ノ名ナリ

一八〇 八月四日 在ベルギー国安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

我が注文品ニ関シベルギー国外相ト会谈報告

ノ件

第一六六号

(八月五日接受)

貴電第五七号ニ関シ三日外務大臣ニ懇談シタルニ日本ノ公益ニ関シ又已ニ一部ノ代価迄仕払タリトノコトナレハ同大臣トシテハ例外的取扱ヲ為スヘキモノト思ハルルニ付篤ト

右(不明)仏ヘ転電セリ

一八二 八月十四日 在ベルギー国安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

藤山雷太氏ノベルギー国皇帝奏上問題ニ関シ

詳細通知方要請ノ件

第一七六号

(八月十五日接受)

六日藤山雷太氏当国皇帝ニ拝謁ノ際白国実業団本邦訪問ノコトニ談及シ日本政府ニ於テハ今般其ノ鉄道ヲ広軌トシ且ツ電化スル為メニ要スル材料ヲ白国ヨリ購買スルコトニ決定シ其ノ端緒トシテ既ニ先日五千噸ノ軌条ヲ注文シタル旨奏上シ外相訪問ノ際モ同様ノコトヲ談話シタルヨリ要路ノ人々陸續右ニ関スル詳細ノ事実ヲ問合セ来ルニ付本使ノ含迄ニ至急何分ノ儀御回示アリタシ

一八三 八月十六日 内田外務大臣ヨリ
在仏国石井大使宛(電報)

満鉄注文品ニ関シライセンヌヲ発給セシメタ

ル上再度仏国当局ト交渉方訓令ノ件

第四四〇号

往電第三七九号ニ関シ

富永ノ報告ニ拠レバ輸出許可書ハ発給ノ運ト成リ居レルモ
仏国出先軍憲ノ本件約定品製作工場ニ対スル間接的妨害ノ
為メ工作全然不能トナリ居ル趣ナルトコロ既ニ「ライセン
ス」ノ発給ヲ為ス以上其製造ヲ可能ナラシムルハ仏国側当
然ノ責務ナルヘキニ付貴官ハ(イ)先ヅ「ライセン」ヲ現実
ニ発給セシメタル上(ロ)再応仏国政府ニ対シ右ノ条理ニヨリ
至急出先軍憲ニ対シ鈔クトモ満鉄約定品ニ対スル工作ヲ不
可能ナラシメザル様訓令方御交渉ノ上結果回電アリ度シ満
鉄ヨリモ在本邦仏国大使ヘ何分ノ斡旋願出ノ筈

一八四 八月十八日 在ベルギー国安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ウェルド鉄管輸出許可ハ先例トナラザル旨ベ
ルギー外相通知ノ件

第一八〇号 (八月十九日接受)

往電第一七一号ニ関シ

八月十七日付外務大臣ヨリ本使宛東京電燈会社所用 *luyach
belle* ハ輸出方許可セラレタル旨監督委員会ヨリ通報アリ
タル趣申越スト同時ニ右ハ例外トシテ許可シタルモノニカ
カリ先例ト見ルヘカラサル旨付言シアリタリ後段御含ミ迄
在仏大使ヘ暗送セリ

一八五 九月十九日 伊集院外務大臣ヨリ
在ベルギー国安達大使宛(電報)

藤山氏奏上問題ニ関シ鉄道省ニ確認シタル旨

ヲ回答ノ件

第七九号
貴電第一七六号ニ関シ

鉄道省ニ確メタルニ軌条五千屯ノ注文ヲナシタルモ右ハ例
年海外注文ノ一部ニシテ電化速成又ハ広軌トナス為ニ非ル
由ナリ

事項四 國際連盟理事会(第二十三回—第二十六回)關係

一八六 一月十九日 在ベルギー国安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

賠償問題ヲ次回理事会ノ議題トスベキヤ否ヤ

ニツキ請訓ノ件

第一五号 (一月二十日接受)

連盟理事会議長タル在英伯拉西爾大使「ダガマ」氏ハ十九
日事務総長「ドラモンド」ヲ經由シテ大要客年九月二十七
日付連盟總會ノ軍縮ニ関スル決議第十六号ニ鑑ミ今回ノ理
事会ニ際シ賠償問題ヲ右理事会ノ議事日程ニ上スベキヤニ
関シ予メ各理事間ニ個人ノ資格ヲ以テ意見ヲ交換スルコト
有益ナリトノ説ヲ發表スルモノアル処議長モ亦右意見ノ交
換ヲ有益ナリト認ムトノ電報ヲ送付シ来レリ

惟フニ右ノ説ヲ為スモノハ例ノ「ブランチング」ナルベク
「ダガマ」大使ハ本国政府ノ訓令ヲ受ケタル上各理事ニ右
ノ電報ヲ発シタルモノナルベケレバ同政府モ亦「ブランチ
ング」ト同説ナルニ相違ナカルベシ英國側ニ於テ「ロード
・バルフォア」退メテ何人ノニ代ルベキヤ明カナラザレド
モ各国理事ノ本件ニ対スル態度ハ其ノ解決ニ最重要ナル影

響ヲ与フベク伊国ニテハ旧首相「サランドラ」今回理事ニ
新任セラレタルト首相「ムッソリニ」ノ奇抜ナル遣口トニ
依リ大ニ注目ニ値スベキモ要スルニ現時欧州ニ於テ最人心
ヲ聳動シツツアル本問題ヲ今回理事会ノ正式議題ノ一ト為
シ以テ本件ノ解決ヲ試ムルコトハ少クトモ仏白両委員ノ断
乎タル反抗ヲ招クベキハ予測シ難カラズ事態輕カラザルモ
ノト認メラルル処右ニ関シ何分ノ儀(脱)相成リタシ
在欧米各大使、勞山、瑞典ヘ転電アリタシ

一八七 一月二十日 在ベルギー国安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第二十三回連盟理事会ノ開催地及ビ開会日変

更ニ關スル件

第一八号 (一月二十一日接受)

連盟理事会開會地及時日ニ関シ二十日夜議長ヨリ會員間ノ
意見未ダ一致セザルニ依リ同議長ハ仏国理事ニ対シ直接伊
國理事ト至急交渉ノ上両者ノ議ヲ纏ムヘキ旨申送り置キタ
ルニ付暫時其決定ヲ待タレタシト電報シ来レリ蓋今回理事